

CA Embedded Entitlements Manager

リリース ノート

r8.4 SP3



本書及び関連するソフトウェア ヘルプ プログラム(以下「本書」と総称)は、ユーザへの情報提供のみを目的とし、CA はその内容を予告なく変更、撤回することがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本書の全部または一部を複写、譲渡、複製、開示、修正、複製することはできません。本書は、CA または CA Inc. が権利を有する秘密情報であり、かつ財産的価値のある情報です。ユーザは本書を開示したり、CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に使用することはできません。

上記にかかわらず、本書に記載されているソフトウェア製品に関連して社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、該当するソフトウェアのライセンスを受けたユーザは、合理的な範囲内の部数の本書の複製を作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を各複製に添付することを条件とします。

本書のコピーを作成する上記の権利は、ソフトウェアの該当するライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、そのライセンスが終了した場合には、ユーザは CA に本書の全部または一部を複製したコピーをすべて CA に返却したか、または破棄したことを文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本書を現状有姿のまま提供し、商品性、お客様の使用目的に対する適合性、他者の権利に対する不侵害についての默示の保証を含むいかなる保証もしません。また、本書の使用に起因し、逸失利益、投資の喪失、業務の中止、営業権の損失、データの損失を含むがそれに限らない、直接または間接のいかなる損害が発生しても、CA はユーザまたは第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本書に記載されたソフトウェア製品は、該当するライセンス契約書に従い使用されるものであり、該当するライセンス契約書はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供:アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2010 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての商標、商号、サービスマークおよびロゴは、それぞれ各社に帰属します。

CA 製品リファレンス

このマニュアルでは、以下の CA 製品について説明します。

- CA® Embedded Entitlements Manager (CA EEM)
- CA® Directory
- CA® SiteMinder® Web Access Manager (CA SiteMinder)
- CA® Security Command Center
- CA® Integrated Threat Management
- CA® Enterprise Log Manager

CAへの連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: はじめに	9
第 2 章: オペレーティング システムのサポート	11
第 3 章: システム要件	13
Windows	13
UNIX および Linux	14
第 4 章: インストールに関する注意事項	15
iGateway のサポートされているバージョン	15
Windows 2008 での CA EEM サーバのインストール	15
CA EEM での JVM 設定の有効化	16
サポートされる FIPS モード	17
第 5 章: アップグレードに関する注意事項	19
CA EEM r8.4 SP3 へのアップグレード	19
サーバのキャッシュ更新時間	19
キャッシュに保管するイベントの設定	19
デフォルト レポートおよびパネル	20
コールド データベース ファイルに変換されたアーカイブ ファイル	20
MDB データベースの移行	20
第 6 章: 一般的な注意事項	21
CA EEM サーバおよびクライアント間の通信が IPv6 環境でうまくいかない	21
Safex の実行	22
第 7 章: 新機能	23
米国連邦情報処理標準 140-2	23
アクセシビリティ機能	23
GUI 要素の移動および選択に使用するキーボード ショートカット	25
CA EEM GUI でタブにアクセスするためのキーボード ショートカット	26

CA EEM C# SDK のログ記録	27
アーティファクト連携	27
CA EEM C++ SDK での証明書のサポート	28
CA EEM C# SDK での証明書のサポート	29
CA EEM Java SDK での証明書のサポート	29
iTechSDK ログ記録	30
CA EEM C# SDK の設定	31
Safex での CA EEM SDK 設定ファイルのサポート	31
第 8 章: 既存の機能の変更	33
インストーラへの変更	33
CA EEM SDK でのメソッドへの変更	34
C# SDK で廃止された API	34
Java SDK で廃止されたメソッド	35
C++SDK で廃止された API	36
eiam.config ファイルへの変更	36
iPoz.conf ファイルへの変更	37
Safex XML への変更	37
Safex を使用した証明書の発行	38
GUI でのフィルタの表示への変更	39
setBackend() API への変更	39
ポリシー評価中の属性の大文字と小文字の区別	39
CA EEM r8.4 SR02 での変更	40
CA EEM C++ SDK の rotateLogFile API	40
Java SDK から廃止されたコンストラクタ	40
log4j のパッケージ化	41
ロガー設定ファイルへの変更	41
CA EEM r8.4 SR01 での変更	41
CA EEM SDK ログ記録への変更	41
CA EEM r8.4 での変更	41
CA EEM インストールのための JRE の要件	42
イベント ログ作成の変更	42
第 9 章: 修正された問題のリスト	43
CA EEM r8.4 SP3 で修正された問題	43
CA EEM r8.4 SR02 で修正された問題	43
CA EEM r8.4 SR01 で修正された問題	45

第 10 章: 既知の問題	47
CA EEM Java Authentication API の実行に 20 秒かかる	48
iGateway サービスが開始または停止されていると、エラー メッセージが表示される	49
igateway.log ファイルに SponsorHandler::loadSponsor エラー メッセージが表示される	50
CA EEM サーバが FIPS のみのモードの場合、SAML 認証方式と CA SiteMinder の統合が機能しない..	50
CA EEM サーバをアンインストールすると、CA Directory フォルダが削除されない ..	51
CA EEM サーバにカスタム作成されたユーザ EiamAdmin でログインできない ..	51
委任ポリシー	52
カスタム インストールにおけるエラー	53
CA EEM サーバ インストールにおけるエラー	54
CA EEM Java SDK 使用時のエラー	54
Kerberos 認証使用時のエラー	55
WebLogic 8.1 アプリケーション サーバ使用時のエラー	56
XACML および SPML サービス使用時のエラー	56
アプリケーションのエクスポートに時間がかかる	57
CA Audit のアンインストール後に CA EEM GUI を起動できない	57
CA Integrated Threat Management のインストール後に CA EEM GUI を起動できない	58
CA Integrated Threat Management のアンインストール後に CA EEM GUI を起動できない	59
カスタム レポートのロードが失敗する、またはロードに長時間がかかる	60
CA SiteMinder への接続後、アプリケーション データが失われる	61
CA SiteMinder への接続時にユーザまたはグループを検索すると完了するまでに長い時間がかかる	61
CA EEM r8.4 へのアップグレード後 SAML が動作しない	62
イベント ログの設定が表示されない	62
カスタム マップ Sun One ディレクトリのグローバル グループ メンバシップが正しく表示されない	63
アーカイブ クエリが失敗する	63
アーカイブ クエリの結果が更新されない	63
[イベント ログ設定]内の[ストレージ フォルダ]フィールド	63
HP-UX でのメモリ サイズ	64
SSL が有効なディレクトリに対して非 SSL ポートで接続した場合に認証が失敗する	64
第 11 章: 制限	65
CA Integrated Threat Management r8.0	65
ユーザ インターフェースの表示の制限	65
Kerberos 認証のための CA EEM サーバのオペレーティング システム要件	66
CA EEM SiteMinder の統合	66
HP-UX 上のポリシーの制限	66

第 12 章：公開されている修正	67
第 13 章：マニュアル選択メニュー	69
第 14 章：国際化サポート	71
付録 A: サードパーティの使用許諾契約	73
Softwares Under the Apache License	74
Adaptive Communication Environment (ACE)	78
Adobe Flex SDK 3.4	79
Castor	85
Expat	86
libcurl 7.18.2	87
Libxml2 2.6.27	88
Libxslt 1.1.18	89
Microsoft Cabinet File Software Development Kit (CAB SDK) 1	91
MIT Kerberos	92
NUNIT	95
Aleksey XML Security Library v.1.2.9 and the xmlsec-nss Library	96
Mozilla Public License v1.1 for xmlsec-nss	98
xmlsec-gnutls	108
OpenSSL 0.9.8.d and 0.9.8.h	109
OpenLDAP 2.4 and 2.3.20	112
PCRE 6.3	113
zlib 1.2.3	115
ZThread 2.3.2	115

第 1 章：はじめに

CA Embedded Entitlements Manager (CA EEM)をご利用いただき、誠にありがとうございます。このドキュメントには、製品のインストールに関する注意事項、オペレーティング システムのサポート、新しい機能、既存の機能への変更、既知の問題、サードパーティ製品の使用条件、および CA テクニカル サポートへの問い合わせに関する情報が含まれています。

第 2 章: オペレーティング システムのサポート

CA EEM サーバおよび CA EEMSDK では、以下のオペレーティング システムのいずれかがインストールされている必要があります。

プラットフォーム	アーキテクチャ	バージョン
Windows	x86/32 ビット	Microsoft Windows 2008 SP2
		Microsoft Windows Server 2003 SP2
		Microsoft Windows Server 2003 R2 SP2
		Microsoft Windows Vista SP1 (CA EEMSDK のみ)
		Microsoft Windows XP Professional SP3 (CA EEMSDK のみ)
注: CA EEM は 64 ビット オペレーティング システム上で 32 ビット アプリケーションとして実行されます。		
Solaris	SPARC/32 ビットおよび 64 ビット	Sun Solaris 10 (Ultra SPARC) および GNU tar 1.15.1
		Sun Solaris 9 (Ultra SPARC) および GNU tar 1.15.1
		Sun Logical Domains (LDOM) (CA EEM を 32 ビット アプリケーションとして実行)
Linux	x86/32 ビット	SUSE Linux Enterprise Server 10, Service Pack 1 (CA EEM クライアントのみ)
		SuSE Linux Enterprise Server 9.0 Service Pack 3, glibc 2.3.2
		Red Hat Enterprise Linux Server 5, Update 1 (libcompat ライブライリを使用) (CA EEM SDK のみ)
		Red Hat Enterprise Linux Server 4, Updates 3 および 6 (libcompat ライブライリを使用)
		Red Hat Enterprise Linux AS4, Update 3
		Red Hat Enterprise Linux 3.0 Update 7, glibc 2.3.2
IBM AIX	Power5/32 ビットおよび 64 ビット	IBM AIX 6.1
		IBM AIX 5.3 および Maintenance Level 9, libcompat.1.0 ライブライリ
		注: CA EEM は 64 ビット オペレーティング システム上で 32 ビット アプリケーションとして実行されます。

プラットフォーム	アーキテクチャ	バージョン
HP-UX	PA RISC/32 ビット	HP-UX 11iv2、libcompat.1.o ライブドライ HP-UX 11iv3
		HP-UX 11.11 および PHCO_31903 Patch、libcompat.1.o ライブ ドライ

CA はこれらのオペレーティング システムを各システムのライフ サイクル期間中サポートします。各システムのライフ サイクル期間は、オペレーティング システムの製造元によって決定されるか、または CA がサポート停止を表明するまでとします。オペレーティング システムのサポートについての最新情報は、弊社ウェブ サイト <http://www.casupport.jp> をご覧ください。

第 3 章：システム要件

Windows

システムの最小要件は以下のとおりです。

- CD-ROM を備えた Intel Pentium 以上のコンピュータ
 - 少なくとも 256MB の RAM (1GB を推奨)
 - 1GB のハードディスクの空き領域に加えて、ディレクトリ データ用に十分な領域
 - インストール時に CA EEM のインストール ファイルが解凍される一時ディレクトリ %temp% (C:\Documents and Settings\Administrator\Local Settings\Temp) に少なくとも 300MB のディスク領域
 - Windows Installer v3 以降が含まれる Windows アップデートの適用
 - Winsock 互換の TCP/IP のインストールおよび設定
 - システムへの Windows 管理者アクセス権
 - CA EEM を CA SiteMinder と統合する場合は、32 ビット Java Runtime Environment 1.6
- 注：CA EEM は JRE なしでもインストールおよび使用できます。JRE なしで CA EEM をインストールする方法の詳細については、「導入ガイド」を参照してください。
- マニュアルの印刷様式を表示するための Adobe Acrobat Reader 8.0
 - Web コンポーネントを実行するためのインターネット ブラウザ (Microsoft Internet Explorer 6.0 以降または Firefox 1.6)
 - IPv6 環境を使用する場合は、Microsoft Internet Explorer 7.0 または Firefox 2.0 以降
 - FIPS のみのモードで CA EEM 管理者 GUI を表示する場合は、Microsoft Internet Explorer 7.0 および Firefox 3.0。
 - レポートを表示するための Flash
 - CA EEM C# SDK ベースのアプリケーションを実行するための Microsoft .Net 2.5 framework。

UNIX および Linux

システムの最小要件は以下のとおりです。

- 少なくとも 256 GB の RAM (2 MB を推奨)
- 1GB のハードディスクの空き領域に加えて、ディレクトリ データ用に十分な領域
- インストール時に CA EEM のインストール ファイルが解凍される一時ディレクトリ (/tmp) に少なくとも 300MB のディスク領域
- CA EEM を CA SiteMinder と統合する場合は、32 ビット Java Runtime Environment 1.6

注: CA EEM は JRE なしでもインストールおよび使用できます。JRE なしで CA EEM をインストールする方法の詳細については、「導入ガイド」を参照してください。
- マニュアルの印刷様式を表示するための Adobe Acrobat Reader (Solaris の場合は Reader 5.0.10、Linux の場合は Reader 7.0)
- Web コンポーネントを実行するためのインターネット ブラウザ (Firefox 1.6 以降)
- FIPS のみのモードで CA EEM 管理者 GUI を表示する場合は、Firefox 3.0。
- CA EEM をインストールする担当者には、以下が必要です。
 - 一般的な UNIX システム管理のスキル
 - システム上のスーパーユーザ (root) アクセス権限

第 4 章：インストールに関する注意事項

このリリースの CA EEM のインストールおよびアップグレードの手順については、「導入ガイド」を参照してください。さらに、CA EEM のインストールおよび設定を行う前に、以下のコンポーネントがコンピュータにインストールされていることを確認してください。

- Windows Installer 3.1 (CA EEM Server を Windows プラットフォームにインストールする前)
- Java Runtime Environment (JRE)。CA EEM は、JRE 1.5.1 で動作確認されています。

iGateway のサポートされているバージョン

CA EEM では、iGateway の x86 バージョンのみがサポートされています。iGateway の 64 ビット バージョンと CA EEM が共にインストールされているコンピュータでは、CA EEM と CA 製品との互換性がありません。

Windows 2008 での CA EEM サーバのインストール

IPv6 環境の Windows 2008 で有効。

Windows 2008 上に CA EEM サーバをインストールする前に、以下を実行します。

1. コマンド プロンプトから以下のコマンドを実行し、fe80:: で始まる IPv6 リンク ローカル アドレスを使用するコンピュータのすべてのインターフェースの一覧を表示します。

```
netsh-> interface-> ipv6-> show-> address
```

2. fe80:: で始まるリンク ローカル アドレスを削除します。

CA EEM での JVM 設定の有効化

CA EEM のインストール中には JRE パスを設定せず、後から CA SiteMinder との統合や SAML を使用した認証を行う場合は、CA EEM での JVM 設定を有効にする必要があります。

JVM 設定を有効にする方法

1. JRE をインストールします。
2. JAVA_HOME 環境変数を設定します。
3. iGateway サービスを停止します。
4. igateway.conf を編集し、以下の JVM 設定を追加します。

```
<JVMSettings>
    <loadjvm>true</loadjvm>
    <javahome>"java path"</javahome>
    <!-- <Properties name="prop-1">
        <system-properties></system-properties>
    </Properties> -->
    <Properties name="eem.endorsed.dirs">

    <system-properties>java.endorsed.dirs=$IGW_LOC$/endorsed</system-properties>
    </Properties>
    <Properties name="eem.ext.dirs">
        <system-properties>java.ext.dirs="java
path"/lib/ext</system-properties>
    </Properties>

</JVMSettings>
```

注: 「\$IGW_LOC\$」は iGateway がインストールされている場所を、「java path」は JRE がインストールされている場所を示します。

5. Linux プラットフォームでのみ、JVM 設定に以下のタグを追加する必要があります。

```
<!-- <Properties name="prop-1">
    <system-properties></system-properties>
<Properties name="jvm_heapsize">
    <jvm-property>-Xmx256m</jvm-property>
</Properties> -->
```

6. igateway.conf ファイルを保存します。

7. iGateway サービスを再起動します。

これで、CA EEM で JVM 設定が有効になります。

サポートされる FIPS モード

CA EEM は、FIPS 非準拠モードで常にインストールされます。FIPS のみの設定はインストール後に実行する必要があります。

注:

- CA EEM は、SAML を使用した FIPS のみのモードはサポートしていません。
- CA EEM は、SELinux オペレーティング システム上での FIPS のみのモードはサポートしていません。

第 5 章：アップグレードに関する注意事項

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA EEM r8.4 SP3 へのアップグレード \(19 ページ\)](#)

[サーバのキャッシュ更新時間 \(19 ページ\)](#)

[キャッシュに保管するイベントの設定 \(19 ページ\)](#)

[デフォルト レポートおよびパネル \(20 ページ\)](#)

[コールド データベース ファイルに変換されたアーカイブ ファイル \(20 ページ\)](#)

[MDB データベースの移行 \(20 ページ\)](#)

CA EEM r8.4 SP3 へのアップグレード

CA EEM r8.4 SP3 にアップグレードする前に、CA EEM サーバ データ、設定ファイル、イベント、および iTechnology フォルダをバックアップすることをお勧めします。

注： CA EEM データおよび設定ファイルバックアップする方法の詳細については、「導入ガイド」を参照してください。

サーバのキャッシュ更新時間

CA EEM r8.4 SP3 では、サーバのキャッシュ更新時間が 24 時間に更新されます。

アップグレードする前に、キャッシュ更新時間にデフォルト値とは異なる値を使用していた場合は、CA EEM r8.4 SP3 のアップグレードによってその値が上書きされます。

注： キャッシュ更新時間は、外部ディレクトリへの参照の設定時に変更できます。外部ディレクトリへの参照を設定する方法の詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

キャッシュに保管するイベントの設定

アップグレード時に、CA EEM r8.4 SP3 では EventsToCache の設定が 100 に更新されます。アップグレードする前に、EventsToCache にデフォルト値とは異なる値を使用していた場合は、CA EEM r8.4 SP3 のアップグレードによってその値が上書きされます。

注： EventsToCache 設定は、iTechnology フォルダの下の iControl.conf ファイルに含まれています。

デフォルト レポートおよびパネル

CA EEM r8.4 より前のリリースから CA EEM r8.4 SP3 へのアップグレード中に、CA EEM によってデフォルトのレポートおよびパネルの定義が上書きされます。CA EEM r8.2.1 のデフォルトのレポートおよびパネルをカスタマイズしている場合、CA EEM r8.4 SP3 にアップグレードする前にカスタマイズしたレポートおよびパネルの名前を変更する必要があります。

コールド データベース ファイルに変換されたアーカイブ ファイル

CA EEM r8.2.1 から CA EEM r8.4 SP3 へアップグレードする際、アーカイブ ファイルはコールド データベース ファイルに変換され、アーカイブ ディレクトリに保存されます。

MDB データベースの移行

CA MDB CA EEM のインストールから CA EEM r8.4 SP3 へアップグレードする際、CA MDB データベース内のデータは CA Directory に移行されます。移行後は、CA MDB 内のデータは CA Directory に移動します。

第 6 章：一般的な注意事項

CA EEM サーバおよびクライアント間の通信が IPv6 環境でうまくいかない

Windows XP Professional SP2 および Windows 2003 Server SP 2 上で有効

症状:

IPv6 環境でクライアントとそのサーバ間の通信が不通になっています。

解決方法:

IPv6 環境では、前述のプラットフォームは DNS サーバと通信して IPv6 アドレスをホスト名に解決することができません。そのため、クライアントとそのサーバ間の通信は不通になります。通信を有効にするには、以下の手順を実行する必要があります。

1. 以下のフォルダ内にある hosts ファイルを開きます。
`<Windows_install_drive>\WINDOWS\system32\drivers\etc`
2. 宛先コンピュータの IP アドレスおよびホスト名を既存の IP アドレスおよびホスト名に以下の形式で追加します。

IPv6 のアドレス ホスト名

たとえば、`2002:9b23:2d52::b892:c8f3:5695:fd5c GPC00015` などです(ここで、`2002:9b23:2d52::b892:c8f3:5695:fd5c` は IP アドレスで、`GPC00015` は該当するコンピュータのホスト名)。

3. hosts ファイルを保存して閉じます。
- 宛先コンピュータの IPv6 アドレスが宛先コンピュータのホスト名にマッピングされます。

注: この手順をすべてのクライアントとそれに対応するサーバ コンピュータ上で繰り返す必要があります。IPv6 および Windows の詳細については、次のリンクを参照してください。<http://www.microsoft.com/technet/network/ipv6/ipv6faq.mspx>

Safex の実行

CA EEM Server が展開されていないコンピュータ上で Safex を実行するには、コンピュータに以下をインストールします。

- Microsoft Visual C++2005 SP1 ランタイム インストール
- CAPKI

CAPKI をインストールする方法

1. CAPKI インストーラは、CA EEM SDK がインストールされているコンピュータ上の以下の場所にあります。
 - **Windows:** %EIAM_SDK%\capki
 - **UNIX と Linux:** \$EIAM_SDK\$capki
2. Safex を実行するターゲット コンピュータに CAPKI をインストールします。

第 7 章：新機能

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[米国連邦情報処理標準 140-2 \(23 ページ\)](#)

[アクセシビリティ機能 \(23 ページ\)](#)

[GUI 要素の移動および選択に使用するキーボード ショートカット \(25 ページ\)](#)

[CA EEM GUI でタブにアクセスするためのキーボード ショートカット \(26 ページ\)](#)

[CA EEM C# SDK のログ記録 \(27 ページ\)](#)

[アーティファクト連携 \(27 ページ\)](#)

[CA EEM C++ SDK での証明書のサポート \(28 ページ\)](#)

[CA EEM C# SDK での証明書のサポート \(29 ページ\)](#)

[CA EEM Java SDK での証明書のサポート \(29 ページ\)](#)

[iTechSDK ログ記録 \(30 ページ\)](#)

[CA EEM C# SDK の設定 \(31 ページ\)](#)

[Safex での CA EEM SDK 設定ファイルのサポート \(31 ページ\)](#)

米国連邦情報処理標準 140-2

CA EEM サーバおよび CA EEM SDK は、米国連邦情報処理標準(FIPS) 140-2 に準拠している暗号ライブラリを使用します。CA EEM 環境が FIPS に準拠したアルゴリズムを使用して機密データを保護する場合のみ、これらのライブラリは FIPS のみの操作モードを提供します。CA EEM サーバおよび CA EEM SDK は、以下の FIPS モードの操作のいずれかで動作します。

- FIPS 非準拠
- FIPS のみ

注: CA EEM の使用時に選択する必要のある FIPS モードの詳細については、「導入ガイド」を参照してください。

アクセシビリティ機能

CA では、さまざまな利用環境のすべてのお客様が、当社の製品およびサポートドキュメントを正しく使用して重要なビジネス業務を遂行できるよう、全力を尽くしています。このセクションでは、CA EEM に含まれているキーボード のアクセシビリティ機能について説明します。

CA EEMGUI にアクセスするキーボード ショートカットは以下になります。

タスク	Windows キー入力
ヘルプ ウィンドウを開く	F1
ヘルプ ウィンドウを閉じる	Alt+F4 または Ctrl+W
ヘルプ ナビゲーション ペインとドキュメント ペイン間でフォーカスを切り替える	F6 および Shift+F6
ヘルプ ナビゲーション タブ間でフォーカスを移動する (フォーカスがナビゲーション ペインにある場合)	Ctrl+Tab および Ctrl+Shift+Tab
ヘルプ ナビゲーション タブ間でフォーカスを移動する (フォーカスが他のタブ名にある場合)	右方向キーまたは左方向キー
アクティブなナビゲーション タブのエレメント間でフォーカスを移動する(テキスト エントリ ボックス、タブ 内容およびタブ名)	Tab または Shift+Tab
アクティブなナビゲーション タブのコンテンツでフォーカスを次の要素へ移動する	下方向キー
アクティブなナビゲーション タブでフォーカスを前の要素へ移動する	上方向キー
[コンテンツ]タブまたは[インデックス]タブで、現在の ヘルプ トピックを展開する	Enter、または右方向キー、または Shift+ プラス記号 (+)
[コンテンツ]タブまたは[インデックス]タブで、現在の ヘルプ トピックを折り畳む	Shift+Enter、または左矢印キー、またはマイナス記号 (-)、またはスラッシュ(/)
[コンテンツ]タブまたは[インデックス]タブで、すべて のヘルプ トピックを展開する	Shift+アスタリスク(*)
[コンテンツ]タブまたは[インデックス]タブで、すべて のヘルプ トピックをアクティブにする	Enter または Space
ヘルプ ウィンドウでフォーカスをツールバーに移動する	Shift+F8
ヘルプ ツールバー上のツールにフォーカスを移動する(ツール バーがフォーカスされる)	Tab および Shift+Tab
ツールをアクティブにする(ヘルプ ツールがフォーカスされる)	Enter または Space

GUI 要素の移動および選択に使用するキーボード ショートカット

このセクションは、GUI 要素の移動や選択を行うために CA EEM でサポートされるキーボード ショートカットについて説明します。

リスト ボックスを移動し、項目を選択する方法

リスト ボックス内の項目を選択するには、タブ キーを使用してリストにフォーカスを設定し、CTRL + 下矢印キーを押してリストの項目を移動します。項目を選択するには、Space キーを押します。[レポートの管理]タブにライブ レポートなどのリストを見つけることができます。

オプション ボタンのグループを移動し、オプション ボタンを選択する方法

あるオプション ボタンのグループ(繰り返し)から別のオプション ボタンのグループ(繰り返しなし)に移動するには、CTRL + 右矢印キーを使用して移動するオプション グループにフォーカスを設定します。オプション ボタンを移動するには、下矢印キーと上矢印キーを使用して、選択するオプション ボタンにフォーカスを移動します。特定のオプション ボタンを選択するには、Space キーを使用します。

表の列を移動し、列を並べ替える方法

表がフォーカスされているときにある列から別の列に移動するには、Tab キーを使用します。特定の列を並べ替えるには、列の上で Space キーを押します。

イベント ビューアの詳細を開く方法

イベントの詳細を表示する場合、イベントにフォーカスを移動して Enter キーを押すと、イベント ビューアの詳細ウインドウが表示されます。

[使用可能な列] テーブルから [選択済みの列] テーブルに列を追加する方法

[クエリの設計] ページで [使用可能な列] テーブルから列を選択し、その列を [選択済みの列] に移動するには、列名の隣の「+」アイコンを押します。あるテーブルから別のテーブルに列をドラッグ アンド ドロップできない場合は、この方法を使用します。

ダイアログ ボックスを閉じる方法

[閉じる] ボタンがないダイアログ ボックスを閉じるには、ALT+F4 キーを押します。たとえば、ヘルプ ウィンドウには閉じるボタンがありません。このウィンドウを閉じるには、ALT+F4 キーを押します。

イベントを 1 つコピーする方法

イベントを 1 つコピーするには、[イベント ビューア] またはテーブルで項目がフォーカスされているときに CTRL+C を押します。

コンボ ボックスに移動し、項目を選択する方法

コンボ ボックスで項目のリストを開くには、CTRL+下方向キー/上方向キー押した後、Enter キーを押して項目を選択します。

CA EEM GUI でタブにアクセスするためのキーボード ショートカット

このセクションでは、CA EEM GUI でタブにアクセスするためのキーボード ショートカットについて説明します。

タスク	IE7 用のショートカット キー	Firefox 用のショートカット キー
ホーム ページを開く	Alt + H	Alt + Shift + H
[ID の管理]タブを開く	Alt + I	Alt + Shift + I
[アクセス ポリシーの管理]タブを開く	Alt + P	Alt + Shift + P
[レポートの管理]タブを開く	Alt + R	Alt + Shift + R
[設定]タブを開く	Alt + C	Alt + Shift + C
[レポートの管理]タブの終了	Ctrl + Alt + 0	Ctrl + Alt + 0
新規イメージの作成リンクツリー構造の切り替え	Ctrl + 方向キー	Ctrl + 方向キー

CA EEM C# SDK のログ記録

CA EEM C# SDK でのログ記録プロセスは、ロガー フレームワークとして log4net を利用します。CA EEM の以前のリリースでは、CA EEM C# SDK はユーティリティ SafeUtil ロガーを使用してイベントをログ記録していました。この新機能には、以下のメリットがあります。

- ログ レベルを更新または変更する場合、アプリケーションを再起動する必要はありません。
- ロガー設定ファイルでパラメータを編集することによって、ファイル名、ファイル サイズ、バックアップ ログ ファイル数などのログ プロパティを管理できます。

ログ記録では、CA EEM SDK によって生成されたメッセージ、エラー、情報を記録することができます。以下のファイルによって、CA EEM C# SDK でのログ記録が制御されます。

- eiam.log4net.config

このファイルは CA EEM SDK パッケージに含まれており、デフォルトでは以下の bin フォルダにあります。

Windows

```
<CAEEMSDK_install_folder>\bin
```

注: CA EEM C# SDK のログ記録および CA EEM C# SDK アプリケーションの構築の詳細については、「導入ガイド」参照してください。

アーティファクト連携

CA EEM では、アーティファクト連携がサポートされます。アーティファクト連携とは、フェールオーバ セットアップで複数の CA EEM サーバ間でアーティファクトを共有することです。たとえば、CA EEM サーバ 1 のアーティファクトが CA EEM サーバ 2 で利用可能な場合、アーティファクト連携と呼ばれます。アーティファクト連携では、フェールオーバ中にプライマリ CA EEM サーバのアーティファクトを使用し、セカンダリ CA EEM サーバを認証します。たとえば、CA EEM サーバ 1 がダウンしていたり、通信できない場合、ユーザはフェールオーバ実行中に CA EEM サーバ 1 のアーティファクトを使用して CA EEM サーバ 2 を認証することができます。

注: アイコンの再生成の詳細については、「導入ガイド」を参照してください。

CA EEM C++ SDK での証明書のサポート

CA EEM C++ SDK では、P12、PEM および PKCS#11 の証明書がサポートされます。

以下のメソッドを使用して証明書を生成します。

- `Safe::Certificate * Safe::Context::issueCertificate (Safe::Error & ee)`
- `Safe::Certificate * Safe::Context::issueCertificateForSession (Safe::Session * session, Safe::Error & ee)`
- `Safe::Certificate * Safe::Context::issueCertificateForUser (Safe::User * user , Safe::Error & ee)`

証明書が生成されたら、以下のメソッドを使用して PKCS#11、PEM および P12 形式に証明書を書き込みます。

- `static bool Safe::Context::writeToP11 (Safe::Certificate *certificate, const char *pkcs11lib, const char *token, const char *userpin, const char *id, bool sensitive, Safe::Error &se)`
- `static bool Safe::Context::writeToP12 (Safe::Certificate *certificate, const char *filename, const char *password, Safe::Error &se)`
- `static bool Safe::Context::writeToPEM (Safe::Certificate *certificate, const char *certfile, const char *keyfile, const char *password, Safe::Error &se)`

注: `writeToPEM` は、証明書を保護するためのパスワードが必要です。この引数はオプションです。FIPS のみのモードでは、パスワードは空白にする必要があります。

証明書が格納されたら、以下のメソッドを使用して PKCS#11、PEM および P12 形式から証明書をロードします。

- `Safe::Certificate * Safe::Context::loadP11 (const char *pkcs11lib, const char *token, const char *userpin, const char *id, bool extractKey, Safe::Error &se)`
- `Safe::Certificate * Safe::Context::loadP12 (const char *p12file, const char *password, Safe::Error &se)`
- `Safe::Certificate * Safe::Context::loadPEM (const char *certfile, const char *keyfile, const char *password, Safe::Error &se)`

CA EEM C# SDK での証明書のサポート

CA EEM C# SDK では、P12 と PEM の証明書がサポートされます。

注： CA EEM C# SDK では、P11 証明書はサポートされません。

以下のメソッドを使用して証明書を生成します。

- ISafeCertificateData com.ca.eiam.SafeContext.issueCertificate()
- ISafeCertificateData com.ca.eiam.SafeContext.issueCertificateForSession(SafeSession session)
- ISafeCertificateData com.ca.eiam.SafeContext.issueCertificateForUser(SafeUser user)

証明書が生成されたら、以下のメソッドを使用して PEM および P12 形式に証明書を書き込みます。

- static void com.ca.eiam.SafeCertificateWriter.WriteToP12(ISafeCertificateData safecertdata, String certFilePath, String password)
- static void com.ca.eiam.SafeCertificateWriter.WriteToPem(ISafeCertificateData safecertdata, String certFilePath, String keyFilePath)

証明書が格納されたら、以下のメソッドを使用して証明書を PEM および P12 形式に読み取ります。

- static ISafeCertificate SafeCertificateReader.LoadP12(String certFile, String password)
- static ISafeCertificate SafeCertificateReader.LoadPEM(String certFile, String privKeyFile)

CA EEM Java SDK での証明書のサポート

CA EEM Java SDK では P12、PKCS#11 および PEM 証明書がサポートされます。

以下のメソッドを使用して証明書を生成します。

- public SafeCertificateData SafeContext.issueCertificate()
- public SafeCertificateData SafeContext.issueCertificateForSession(SafeSession session)
- public SafeCertificateData SafeContext.issueCertificateForUser(SafeUser user)

証明書が生成されたら、以下のメソッドを使用して、PKCS#11、PEM および P12 形式に証明書を書き込みます。

- static void SafeCertificateWriter.writeToP11(SafeCertificateData certdata, java.lang.String provider, java.lang.String userpin, java.lang.String id)
- static void SafeCertificateWriter.writeToP12(SafeCertificateData certdata, java.lang.String p12file, java.lang.String password)
- static void SafeCertificateWriter.writeToPEM(SafeCertificateData certdata, java.lang.String certfile, java.lang.String keyfile)

証明書が作成されたら、以下のメソッドを使用して PKCS#11、PEM および P12 形式から証明書を読み取ります。

- SafeCertificateData SafeCertificateReader.readP11(java.lang.String provider, java.lang.String userpin, java.lang.String id)
- SafeCertificateData SafeCertificateReader.readP12(java.lang.String p12file, java.lang.String passwd)
- SafeCertificateData SafeCertificateReader.readPEM(java.lang.String certfile, java.lang.String keyfile)

iTechSDK ログ記録

CA EEM では、iTechnology レイヤのメッセージもログに記録することができます。 eiam.config ファイルを使用すると、ログの記録を設定できます。

注： CA EEM C# SDK では、iTechnology レイヤのログの記録を明示的に有効にする必要はありません。 iTechnology のログ記録は、log4net ロガー フレームワークに含まれています。 ログ記録の詳細については、「導入ガイド」を参照してください。

CA EEM C# SDK の設定

CA EEM C# SDK を設定するには、新しく追加されたクラスである `afeConfigurator` を使用します。

CA EEM C# SDK は、アプリケーションの起動中に初期化され、アプリケーションのシャットダウン中に終了する必要があります。 `eiam.config` ファイルは CA EEM SDK の設定を制御します。 CA EEM SDK の設定には、以下のパラメータの設定が含まれます。

- FIPS モード
- SDK ログ記録
- 監査ファイルが格納される SAF フォルダ

注： CA EEM C# SDK の設定の詳細については、「導入ガイド」を参照してください。

Safex での CA EEM SDK 設定ファイルのサポート

Safex を実行するために `EIAMCONFIG` 環境変数をインポートする必要はありません。現在、Safex は `eiam.config` ファイルを使用して初期化されます。この機能をサポートするために、Safex XML に以下のタグが追加されました。

`-sdkconfig`

`eiam.config` への絶対パスを指定します。

重要： `eiam.config` ファイルに無効な属性が含まれている場合、Safex が異常終了します。

第 8 章：既存の機能の変更

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [インストーラへの変更 \(33 ページ\)](#)
- [CA EEM SDK でのメソッドへの変更 \(34 ページ\)](#)
- [C# SDK で廃止された API \(34 ページ\)](#)
- [Java SDK で廃止されたメソッド \(35 ページ\)](#)
- [C++SDK で廃止された API \(36 ページ\)](#)
- [eiam.config ファイルへの変更 \(36 ページ\)](#)
- [iPoz.conf ファイルへの変更 \(37 ページ\)](#)
- [Safex XML への変更 \(37 ページ\)](#)
- [Safex を使用した証明書の発行 \(38 ページ\)](#)
- [GUI でのフィルタの表示への変更 \(39 ページ\)](#)
- [setBackend\(\) API への変更 \(39 ページ\)](#)
- [ポリシー評価中の属性の大文字と小文字の区別 \(39 ページ\)](#)
- [CA EEM r8.4 SR02 での変更 \(40 ページ\)](#)
- [CA EEM r8.4 SR01 での変更 \(41 ページ\)](#)
- [CA EEM r8.4 での変更 \(41 ページ\)](#)

インストーラへの変更

CA EEM インストーラに以下の変更が行われました。

- CAPKI は、CA EEM サーバおよび CA EEM SDK と共にインストールされます。
- 新しいパラメータ -capkiinstalldir および -dxadminport が CA EEM サーバ インストール パラメータに追加されました。CAPKI インストール フォルダおよび dxadmin ポートをそれぞれカスタマイズするには、このパラメータを使用します。
注：新しいパラメータの詳細については、「導入ガイド」を参照してください。
- HP-UX 上での CA EEM サーバのインストールには JRE が必要です。

CA EEM SDK でのメソッドへの変更

以下のメソッドは、引数として SafeCertificate オブジェクトを使用するためオーバーロードされます。

- issueCertificate
- issueCertificateForUser
- issueCertificateForSession
- registerApplicationInstance
- authenticateWithCertificate
- fastauthenticateWithCertificate

注：これらのメソッドのシグネチャの詳細については、SDK のドキュメントと共に「プログラミング ガイド」を参照してください。

C# SDK で廃止された API

CA EEM C# SDK では、以下のメソッドが廃止されました。

- SafeAuthorizationResult.List
- SafeContext.authenticateWithCertificate (String certfile, String password)
- SafeContext.fastAuthenticateWithCertificate (String certfile, String password)
- SafeContext.registerApplicationInstance (SafeApplicationInstance ai, String certfile, String password)
- SafeContextFactory.getSafeContext (String backend, String appInstance, FileInfo certFile, String certPassword, CultureInfo locale, String cachefile)
- SafeGlobalUser.DirectoryPassword ()
- SafeGlobalUser.PasswordDigest ()
- SafeUtil.buildDigest (String data, int size)
- SafeUtil.buildPasswordDigest (String password)
- SafeUtil.DebugFile ()
- SafeUtil.DebugLevel ()
- SafeUtil.disableDebug ()
- SafeUtil.enableDebug ()
- SafeUtil.isDebugEnabled ()
- SafeUtil.verifyDigest (String data, int size, String digest)
- SafeUtil.verifyPasswordDigest (String password, String passworddigest)

Java SDK で廃止されたメソッド

CA EEM Java SDK では、以下のメソッドが廃止されました。

- SafeContext.authenticateWithCertificate(String, String)
- SafeUtil.buildDigest(String, int)
- SafeUtil.buildPasswordDigest(String)
- SafeSession.exportSession(String)
- SafeContext.fastAuthenticateWithCertificate(String, String)
- SafeContextFactory.getSafeContext(String, String, File, String, Locale)
- SafeContextFactory.getSafeContext(String, String, File, String, Locale, String)
- SafeContext.issueCertificate(String, String)
- SafeContext.issueCertificateForSession(SafeSession, String, String)
- SafeContext.issueCertificateForUser(SafeUser, String, String)
- SafeContext.registerApplicationInstance(SafeApplicationInstance, String, String)
- SafeGlobalUser.setDirectoryPassword(String)
- SafeSession.setLastPassword(String)
- SafeGlobalUser.setPassword(String)
- SafeGlobalUser.setPasswordDigest(String)
- SafeUtil.verifyDigest(String, int, String)
- SafeSession.verifyLastPassword(String)
- SafeUtil.verifyPasswordDigest(String, String)

C++SDK で廃止された API

CA EEM C++ SDK では、証明書管理に使用する以下のメソッドが廃止されました。

- Safe::Context::authenticateWithCertificate (const char *certfile, const char *password, Safe::Error &ee)
- Safe::Context::fastAuthenticateWithCertificate (const char *certfile, const char *password, istring &username, Safe::Error &ee)
- Safe::Context::issueCertificate (const char *certfile, const char *password, Safe::Error &ee)
- Safe::Context::issueCertificateForSession (Safe::Session *session, const char *certfile, const char *password, Safe::Error &ee)
- Safe::Context::issueCertificateForUser (Safe::User *user, const char *certfile, const char *password, Safe::Error &ee)
- Safe::Context::registerApplicationInstance (Safe::ApplicationInstance &ai, const char *certfile, const char *password, Safe::Error &ee)
- Safe::GlobalUser::setDirectoryPassword (const char *password)
- Safe::GlobalUser::setDirectoryPasswordDigest (const char *passworddigest)
- Use setPassword member Safe::GlobalUser::setPasswordDigest (const char *passworddigest)

eiam.config ファイルへの変更

以下の機能をサポートするために、eiam.config ファイルに新しいタグが追加されました。

- CA EEM SDK の FIPS のみのモードまたは FIPS 非準拠モードの設定。
- Java SDK、C++SDK での iTechnology レベルのログ記録の有効化
- SafeContext の作成

注： eiam.config ファイルの詳細については、「導入ガイド」を参照してください。

iPoz.conf ファイルへの変更

以下の新しいタグが iPoz.conf ファイルに追加されました。

- <ArtifactManager SessionTimeout="10" RequestTimeout="30" ArtifactStore="local/federated"></ArtifactManager>
- <ExternalDirCacheFolder>
- <ExternalDirEscapeSlash>

注：これらのタグの詳細については、「実装ガイド」を参照してください。

Safex XML への変更

CA EEM へのアプリケーション登録中に証明書をサポートするために、以下のタグが Safex XML に追加されました。

PEM 証明書

```
<Register certtype="pem" certfile="RBC_Hospital.pem"
keyfile="RBC_Hospital.key" password="RBC_Hospital">
```

場所

certfile

PEM 証明書ファイルの名前を指定します。

KeyFile

秘密鍵ファイルを指定します。

password

pem ファイルの読み取りに必要なパスワードを指定します。 FIPS のみのモードでは、パスワード タグは空白にする必要があります。

P12 証明書

```
<Register certtype="p12" certfile="RBC_Hospital.p12"
password="RBC_Hospital">
```

certfile

P12 ファイルの名前を指定します。

password

P12 ファイルの読み取りに必要なパスワードを指定します。

P11 証明書

```
<Register certtype="p11" pkcs11lib="pkcs11lib" token="token" userpin="userpin" id="id" sensitive="true">
```

場所

pkcs11lib

PKCS11 ライブラリの実装へのパスを指定します。

token

ハードウェア トークンの名前を指定します。

userpin

ログインに必要なユーザ ピンを指定します。

id

認証ラベルを指定します。

sensitive

秘密鍵を機密データとして扱うかどうかを指定します。 秘密鍵のパスを sensitive として指定する場合、秘密鍵はコピーできません。

値: [True|False]

Safex を使用した証明書の発行

認証を発行するために、Safex XML と共に以下のタグが含まれています。

P12 証明書

```
<Register certtype="p12" certfile="sample.p12" password="sample"/>
```

PEM 証明書

```
<Register certtype="pem" certfile="sample.pem" keyfile="sample.key" password="sample">
```

注: FIPS のみのモードでは、パスワードはサポートされません。 FIPS のみのモードの場合、パスワードは空白にする必要があります。

P11 証明書

```
<Register certtype="p11" pkcs11lib="pkcs11lib" token="token" userpin="userpin" id="id" sensitive="true">
```

GUI でのフィルタの表示への変更

このリリースから、CA EEM GUI のフィルタ情報に属性タイプの短縮コードが表示されます。CA EEM 管理者 GUI でフィルタがどのように表示されるかを以下の例に示します。

```
global user: gu:UserName == value: val:testuser
```

CA EEM r8.4 SP3 の前のバージョンでは、同じフィルタは以下のように表示されていました。

```
global user: UserName == value: testuser
```

setBackend() API への変更

CA EEM r8.4 SP3 の前のバージョンでは、フェールオーバ サーバのリストを取得するには、少なくとも 1 度 CA EEM SDK をプライマリ サーバに接続する必要がありました。最初に接続する前にプライマリ サーバがダウンしている場合、CA EEM SDK はプライマリ サーバからフェールオーバ サーバ リストを取得しません。CA EEM r8.4 SP3 では、`setBackend()` API を使用して、CA EEM SDK にフェールオーバ サーバ のリストを設定できます。そのため、最初に接続する前にプライマリ サーバがダウンしている場合、`setBackend()` メソッドを使用して提供されるホスト名のリストを使用し、セカンダリ サーバに接続します。

注: CA EEM C# SDK では、この API は有効ではありません。`setBackend()` API の詳細については、SDK のドキュメントと共に「プログラミング ガイド」を参照してください。

ポリシー評価中の属性の大文字と小文字の区別

ポリシー評価中、CA EEM は、以下のテーブルにリストされている属性を大文字と小文字を区別しないものとして処理します。これらの属性がフィルタ内で計算またはカスタム変数の一部として提供される場合、CA EEM は大文字と小文字を区別するものとして属性を処理します。

属性タイプ	属性	コメント
dug	Name	Dynamic User Group 属性タイプの名前属性。
gu	UserName	Global User 属性タイプのユーザ名属性。
gu	GroupMembership	Global User 属性タイプのグループ メンバシップ属性。

属性タイプ	属性	コメント
gug	GroupMembership	Global User Group 属性タイプのグループ メンバシップ属性。
gug	名前	Global User Group 属性タイプの名前属性。
req	identity	Request 属性タイプの ID 属性。
req	delegator	Request 属性タイプの委任者属性。
u	GroupMembership	Application User 属性タイプのグループ メンバシップ属性。
u	Name	Application User 属性タイプの名前属性。
ug	GroupMembership	Application User Group 属性タイプのグループ メンバシップ属性をグループ化します。
ug	Name	Application User Group 属性タイプの名前属性。

CA EEM r8.4 SR02 での変更

以下のトピックでは、CA EEM r8.4 SR01 から CA EEM r8.4 SR02 に加えられた変更について説明します。

CA EEM C++ SDK の rotateLogFile API

以下の API が削除され、CA EEM C++SDK で利用できなくなりました。

```
Safe::Context::rotateLogFile
```

Java SDK から廃止されたコンストラクタ

CA EEM Java SDK から以下のコンストラクタが削除されました。

- SafeEvent()
- SafeEvent(java.lang.String xmlString)

CA EEM Java SDK の SafeEvent() クラスに以下の新しいコンストラクタが追加されました。

- SafeEvent(com.ca.itechology.iclient.Iclient)

log4j のパッケージ化

CA EEM Java SDK では、log4j-1.2.15.jar を個別のファイルとしてリリースしません。log4j-1.2.15.jar ファイルは Safe.jar ファイルに組み込まれています。

ロガー設定ファイルへの変更

CA EEM r8.4 SR01 では、logger.config ファイルを使用して CA EEM SDK のログ記録を設定しました。このリリースでは、logger.config ファイルが新しい 2 つのファイル、eiam.log4cxx.config と eiam.log4j.config に置き換えられます。これらのファイルは、CA EEM C++ SDK および CA EEM Java SDK 用のログ設定を制御します。

注: CA EEM C# SDK のログ記録はアップグレードされていません。CA EEM C# SDK でメッセージをログに記録するには、引き続き safe::util を使用する必要があります。

CA EEM r8.4 SR01 での変更

以下のトピックでは、CA EEM r8.4 から CA EEM r8.4 SR01 に加えられた変更について説明します。

CA EEM SDK ログ記録への変更

Java SDK および C++ SDK では、古いログ記録プロセスはユーティリティ safe::util ロガーを利用してましたが、CA EEM の新しいログ記録プロセスはロガー フームワークとして log4j と log4cxx を利用します。この新機能には、以下のメリットがあります。

- ログ レベルをトレースするためにデバッガを起動したり、エラーをデバッグするためには iGateway を再起動する必要はありません。
- ロガー設定ファイル内のパラメータを編集することによって、ファイル名、ファイル サイズ、バックアップ ログ ファイルの数などのログ プロパティを管理できます。
- ネットワーク、パフォーマンス、コンソールおよび CA EEM SDK に関するメッセー ジ、情報、エラーをログに記録できます。

注: CA EEM C# SDK のログ記録はアップグレードされていません。CA EEM C# SDK でメッセージをログに記録するには、引き続き safe::util を使用する必要があります。

CA EEM r8.4 での変更

以下のトピックでは、CA EEM r8.4 に加えられた変更について説明します。

CA EEM インストールのための JRE の要件

CA EEM の現在のリリースでは、CA EEM のインストールまたは使用において JRE は必要要件ではなくなりました。新しいサーバ インストール パラメータである `javahome` が CA EEM インストールに追加され、`javahome` が「None」に設定されると、CA EEM インストーラでは JRE に依存することなく CA EEM をインストールできます。

注：CA EEM を CA SiteMinder と統合する場合は、CA EEM インストールにおいて JRE が必須要件になります。

イベント ログ作成の変更

CA EEM の以前のリリースでは、ポリシー サーバ ストア内の `SafeStoredObject` またはフォルダの挿入、削除、または変更などの管理アクションを実行すると、変更された属性ごとに管理イベントが生成されていました。CA EEM の本リリースでは、管理アクションに対しては、更新、挿入、または削除されたすべての属性は 1 つの管理イベントとしてログに記録されます。

また、CA EEM の本リリースでは、権限付与時に生成されたイベントによって、権限付与された名前付きの属性のログが記録されます。この動作を実装するために、`Safe::Context` クラスに以下のメソッドが追加されています。

```
void submitAuthorizationEvent(const char *identity, const char *action, const char *resourcename, Safe::ErrorCode errorcode, const char *delegator, const char *policyname, Safe::AttrQ &namedattrq);
```

第 9 章：修正された問題のリスト

CA EEM r8.4 SP3 で修正された問題

このリリースでは、以下の STAR の問題が修正されました。

STAR の問題番号 問題の内容

17699470	EiamAdmin は、2 つの CA EEM サーバ間に信頼を追加できない。
17911242	暗号化されたパスワードが root 以外のユーザに表示される。
18497993	ユーザ CN にカンマが含まれている場合、ユーザ取得時にエラーが発生する。
18443601	ロード実行中、CA EEM サーバのメモリ使用量が徐々に増加する。
18460039	AIX 上でシャットダウン中の CA EEM サーバによって core ファイルが生成される。
18492259	ローカライズされた文字列が CA EEM インストーラで文字切れする。
18497993	ユーザ CN にスラッシュが含まれている場合、CA EEM はユーザを取得できない。
18590200	calm.cnf ファイルが空の場合、CA EEM サーバの起動でクラッシュする。
18663809	初期化中に log4j で例外が発生する。
18677992	FastAuthenitcateWithPassword が正しいエラー コードを返さない。
18709849	CA EEM サーバの CPU 使用率が 100 パーセントに達する。
18771592	CA EEM のポリシー評価で大文字と小文字が区別される。
18790763	アプリケーションがラッパー DLL を使用して CA EEM SDK を呼び出すと、アプリケーションが終了中にハングする。
18958738	一時ディレクトリ パスに空白のスペースが含まれていると、CA EEM のインストールが失敗する。

CA EEM r8.4 SR02 で修正された問題

このリリースでは、以下の STAR の問題が修正されました。

STAR の問題番号 STAR の問題の内容

16654975	Windows で使用されるメモリの最適化が原因で iGateway のメモリ使用量が増加す
----------	--

STAR の問題番号	STAR の問題の内容
16843262	リソース フィールドに /* を含むポリシーが GUI に表示されない。
17605187	ユーザの取得時、ユーザの姓と名に「&」、「<」、「>」などの特殊文字が含まれている場合、CA EEM Java SDK によって特殊文字がエスケープ シーケンスに変更される。
17729293	ポリシー タイプのポリシーである Identity Access Control List を作成する際、CA EEM では同じユーザに異なる権限を割り当てることができる。
18100525	フェールオーバ セットアップ中に CA EEM サーバが利用可能ではない場合、CA EEM で保護されているアプリケーションにログインできない。
18100943	フェールオーバ セットアップで、CA EEM サーバ 1 がダウンしている場合、レプリケーション サーバで実行したポリシーの変更が保存されるが、確認メッセージが表示されない。
18119830	CA EEM からログアウトすると、CA EEM がクラッシュする。
18122029	AllUsersFilter を使用していない場合、CA EEM によってオブジェクト検索フィルタにアンパサンド「&」が挿入される。この挿入によって、LDAP サーバへの処理サイクルが増加する。
18167627	CA EEM のアプリケーション オブジェクトの最大サイズが 2.5MB しかない。
18181773	Java SDK の searchMatchingPoliciesByResource API では入力として「*」を使用できないため、Java SDK のパフォーマンスに影響を及ぼす。
18205860	safex を使用してアプリケーションを登録または登録解除するときに表示される log4cxx メッセージは、ログ ファイル内の関連するログ メッセージに記録される必要がある。
18246763	iGateway を起動すると、存在しないプロセスが作成される。
18250914	Windows のドイツ語版のマシンで CA EEM のインストールが失敗する。
18261887	ポリシーの評価中、CA EEM がユーザ名、グローバル ユーザ名、アプリケーション ユーザ名、グローバル ユーザ グループおよびアプリケーション ユーザ グループを大文字小文字を区別して処理する。
18318532	CA EEM によって LDAP クエリのフィルタにアンパサンド「&」が挿入される。この挿入によって、LDAP サーバへの処理サイクルが増加する。
18320089	リソースの正規表現にエスケープ文字「¥」が含まれている場合、リソース フィルタの一部が正常に保存されない。
18358337	フェールオーバ セットアップでプライマリ CA EEM サーバを回復する場合、ユーザを認証するために CA EEM によって保護されたアプリケーションを再起動する必要がある。
18360263	CA EEM では、ログイン済みのユーザが別のセッションでログインせずにホーム ページを表示できる。

STAR の問題番号	STAR の問題の内容
18434870	CA EEM フェールオーバ セットアップでは、アプリケーション登録情報がプライマリサーバからセカンダリ サーバにレプリケートされない。
18443918	SAML でリリースされた log4j のバージョンは、Java SDK で使用されているのと同じバージョンである必要がある。
18451973	Safe::Cache::Stop コールを使用すると、CA EEMSDK がハングする。

CA EEM r8.4 SR01 で修正された問題

CA EEM のこのリリースでは、以下の問題が修正されました。

- Safex/safetool では、HP-UX 上で 900MB 以上を割り当てることができない。
- 管理イベント レポートが CA ELM UI で正しく表示されない。
- フェールオーバ セットアップで 2 つのサーバのイベントが両方のサーバに表示される。
- 製品バージョンのビルド番号の後ろのゼロは削除する必要がある。
- Windows に C ドライブが 存在しない場合、CA Directory のインストールが失敗する。
- Httpclientrequest のデフォルトの RetryHandler カウントはメソッドから設定可能にする必要がある。
- CA EEM サーバの存在をチェックするメソッド pingEiam が、JAVA SDK と C# SDK に含まれている必要がある。
- C# デモ アプリケーションおよび elsewhere.cs が Linux/UNIX SDK ビルドでリリースされる必要がない。

CA EEM のこのリリースでは、以下の STAR の問題が修正されました。

STAR の問題	STAR の問題の内容
17346171	Windows プラットフォームで、EEM をアンインストールした後、Data フォルダと Directory フォルダが削除されない。
17342835	グローバル ユーザおよびグループの取得時、CA EEM はユーザ名にカッコを含むユーザを取得できない。
17832874	Microsoft Visual C++ 8 (VC8)ソリューション ファイルおよび VC8 プロジェクト ファイルが、SDK を使用して safetool バイナリを構築するために必要になる。

STAR の問題	STAR の問題の内容
17844994	ポリシーにリソースとして * が含まれている場合、CA EEM SDK で例外が発生する。
16491014	外部ディレクト リサーバに接続する場合、CA EEM は SiteMinder のフェールオーバ設定をサポートする必要がある。
17888426	DN 名が ObjectRemove ログ記録ステートメントに表示されない。

第 10 章：既知の問題

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [CA EEM Java Authentication API の実行に 20 秒かかる \(48 ページ\)](#)
- [iGateway サービスが開始または停止されると、エラー メッセージが表示される \(49 ページ\)](#)
- [igateway.log ファイルに SponsorHandler::loadSponsor エラー メッセージが表示される \(50 ページ\)](#)
- [CA EEM サーバが FIPS のみのモードの場合、SAML 認証方式と CA SiteMinder の統合が機能しない \(50 ページ\)](#)
- [CA EEM サーバをアンインストールすると、CA Directory フォルダが削除されない \(51 ページ\)](#)
- [CA EEM サーバにカスタム作成されたユーザ EiamAdmin でログインできない \(51 ページ\)](#)
- [委任ポリシー \(52 ページ\)](#)
- [カスタム インストールにおけるエラー \(53 ページ\)](#)
- [CA EEM サーバ インストールにおけるエラー \(54 ページ\)](#)
- [CA EEM Java SDK 使用時のエラー \(54 ページ\)](#)
- [Kerberos 認証使用時のエラー \(55 ページ\)](#)
- [WebLogic 8.1 アプリケーション サーバ使用時のエラー \(56 ページ\)](#)
- [XACML および SPML サービス使用時のエラー \(56 ページ\)](#)
- [アプリケーションのエクスポートに時間がかかる \(57 ページ\)](#)
- [CA Audit のアンインストール後に CA EEM GUI を起動できない \(57 ページ\)](#)
- [CA Integrated Threat Management のインストール後に CA EEM GUI を起動できない \(58 ページ\)](#)
- [CA Integrated Threat Management のアンインストール後に CA EEM GUI を起動できない \(59 ページ\)](#)
- [カスタム レポートのロードが失敗する、またはロードに長時間がかかる \(60 ページ\)](#)
- [CA SiteMinder への接続後、アプリケーション データが失われる \(61 ページ\)](#)
- [CA SiteMinder への接続時にユーザまたはグループを検索すると完了するまでに長い時間がかかる \(61 ページ\)](#)
- [CA EEM r8.4 へのアップグレード後 SAML が動作しない \(62 ページ\)](#)
- [イベント ログの設定が表示されない \(62 ページ\)](#)
- [カスタム マップ Sun One ディレクトリのグローバル グループ メンバシップが正しく表示されない \(63 ページ\)](#)
- [アーカイブ クエリが失敗する \(63 ページ\)](#)
- [アーカイブ クエリの結果が更新されない \(63 ページ\)](#)
- [\[イベント ログ設定\]内の\[ストレージ フォルダ\]フィールド \(63 ページ\)](#)
- [HP-UX でのメモリ サイズ \(64 ページ\)](#)
- [SSL が有効なディレクトリに対して非 SSL ポートで接続した場合に認証が失敗する \(64 ページ\)](#)

CA EEM Java Authentication API の実行に 20 秒かかる

Linux で有効

症状:

JCE プロバイダとして BSAFE Crypto-J 4.0 を使用すると、CA EEM Java Authentication API は、実行に 20 秒かかります。

解決方法:

これは Sun Java の問題です。この問題の回避策は、Sun のサイト 「<http://bugs.sun.com/>」にリリースされています。バグ ID 4705093 を検索して、回避策を参照してください。回避策として以下の手順を実行します。

- セキュリティ プロパティ「java.security.egd」を設定することによって、Java で使用する EGD を「file:///dev/urandom」に設定します。

または

- セキュリティ プロパティ「java.security.egd」ではなく、次のコマンド ラインからシステム プロパティを設定します: -Djava.security.egd=file:///dev/.urando

iGateway サービスが開始または停止されていると、エラー メッセージが表示される

iGateway をシャットダウンすると、`igateway.log` ファイルに以下のエラー メッセージが記録されます。

- `PozFactory::isFailoverRequired`: EEM Server と通信できませんでした、サーバがエラー コード= 500 を返しました。
- `PozFactory::attachPoz` Error: iSponsor サーバ エラー
- `PozFactory::searchObjects` - 添付されていません
- `Safe::Cache::threadLoop` - キャッシュ オブジェクトの取得エラー

これらのメッセージを無視してください。これらは CA EEM 機能には影響ありません。

また、Windows 上で iGateway を開始または停止すると、イベント ビューアーに以下のようなエラー メッセージが表示されます。

- エラー: iGateway サービスが開始できませんでした。エラー コード 2、リターンコード 0
- エラー: iGateway サービスを停止できませんでした。エラー コード 2、リターンコード 0

ユーザのコンピュータが遅く、指定時間内に iGateway サービスが停止または開始しない場合、これらのメッセージが表示されます。これらのメッセージは無視してください。これらは CA EEM の機能には影響ありません。

igateway.log ファイルに SponsorHandler::loadSponsor エラー メッセージが表示される

CA EEM サーバを r8.4 SR01 または r8.4 SR02 から r8.4 SP3 サーバにアップグレードすると、以下のようなエラー メッセージが igateway.log ファイルに記録されます。

- ERROR :: SponsorCallBack::GetLibPtr2 : ライブラリをロードできません [CALMSpindle]
- ERROR :: SponsorHandler::loadSponsor : ロードできません [sponsor : logDepot , imagename : logDepot]
- ERROR :: SponsorHandler::start : スポンサをロードできません [sponsor : logDepot , imagename: logDepot]
- ERROR :: InProcessSponsorManager::addSponsor : スポンサをロードできません [sponsor : logdepot]
- ERROR :: SponsorManager::start : Sponsor [logdepot] ロードできません

これらのエラー メッセージは無視してください。これらは CA EEM 機能には影響ありません。

CA EEM サーバが FIPS のみのモードの場合、SAML 認証方式と CA SiteMinder の統合が機能しない

AIX で有効

CA EEM サーバが FIPS のみのモードで設定されていると、SAML 認証および CA SiteMinder の統合が失敗します。

CA EEM サーバをアンインストールすると、CA Directory フォルダが削除されない

症状:

CA EEM サーバをアンインストールすると、CA Directory フォルダが削除されず、アンインストール ログに以下のエラー メッセージが記録されます。

rm: 現在の作業ディレクトリのパスにあるディレクトリを削除できません。

/opt/CA/Directory/dxserver

同じコンピュータ上で以前のインストールと同じパスに CA EEM サーバを再インストールすると、インストール ログに以下のエラー メッセージが記録されます。

指定したフォルダ /opt/CA/Directory/dxserver は、他のユーザが所有しているため使用できません。

インストールが終了しました。

エラー: CA Directory をインストールできませんでした。

インストールを中止します

解決方法:

CA EEM サーバをアンインストールした後、CA Directory フォルダを手動で削除します。

CA EEM サーバにカスタム作成されたユーザ EiamAdmin でログインできない

Windows および Linux で有効

症状:

CA EEM サーバにカスタム作成されたユーザ「EiamAdmin」でログインできません。パスワードが間違っているというエラー メッセージが返されます。

解決方法:

デフォルトでは、CA EEM は、インストール時に、管理権限を持つユーザ、「EiamAdmin」を作成します。「EiamAdmin」としてログインしようとすると、CA EEM は常にデフォルトの「EiamAdmin」ユーザのクレデンシャルに基づいて認証を行おうします。そのため、外部ディレクトリまたは CA MDB にカスタム ユーザ「EiamAdmin」が存在する場合、カスタムの「EiamAdmin」クレデンシャルでは CA EEM にログインできません。

委任ポリシー

症状:

他のユーザに(委任ポリシーを使用して)権限を委任しているユーザの削除または無効化を行うとすると、委任された権限が有効なままになっています。

解決方法:

削除または無効化されたユーザによって作成された委任ポリシーを明示的に削除する必要があります。

カスタム インストールにおけるエラー

Windows で有効

症状:

CA Directory および iTechnology をカスタマイズされた場所にインストールすると、以下のエラーが返されます。

Error Executing Specified program

解決方法:

InstallShield のコマンドの長さの制限が原因でこのエラーが返される場合があります。

Microsoft Windows XP または Windows Server 2003 がインストールされているコンピュータでは、コマンド プロンプトで使用できる文字列の最大長は 8,191 文字です。 Microsoft Windows 2000 では、コマンド プロンプトで使用できる文字列の最大長は 2,047 文字です。

このエラーを回避するには、cmdfile パラメータを使用します。

```
EEMServer_[リース番号].[ビルト日付]_win32.exe -s -a /s /f1"location of response file"  
/z"cmdfile=location of cmdfile "
```

例:

```
EEMServer_8.4.0.55_win32.exe -s -a /s /f1"c:\resp.iss" /z"cmdfile=c:\cmd.txt "
```

重要: cmdfile パラメータについては、1 つのスペース文字を、終了引用符の前にのみ入力します。

次の例に示すように、cmdfile には CA Directory および iGateway 用のカスタム インストール パスが含まれています。

```
etdirpath=Custom installation path for CA Directory;igpath=Custom installation path  
for iGateway;
```

CA EEM サーバ インストールにおけるエラー

HP-UX で有効

症状:

CA EEM サーバのインストール時に、「1 つ以上のインストール サニティ テストに失敗しました」というメッセージが返され、インストールに失敗します。

解決方法:

このエラーが返されるのは、swlist バイナリ ファイルがアクセス不能な場合です。

swlist バイナリ ファイルは、HP-UX のパッチのチェックに使用されます。

このエラーを回避するには、export コマンドを使用して、swlist バイナリ ファイルが含まれているフォルダで PATH 環境変数を更新します。以下に例を示します。

```
export PATH=/usr/sbin/:$PATH
```

パスの更新後、インストールを再起動します。

CA EEM Java SDK 使用時のエラー

症状:

Tomcat 4.1 がインストールされたコンピュータで CA EEM Java SDK を使用すると、以下のブラウザ エラーが返されます。

HTTP 404 Error

Tomcat のログに以下の例外が書き込まれます。

```
org.apache.commons.logging.LogConfigurationException: Invalid class loader hierarchy.  
You have more than one version of 'org.apache.commons.logging.Log' visible, which is  
not allowed.
```

解決方法:

Tomcat 4.1 がインストールされたコンピュータで CA EEM Java SDK を使用するには、以下の手順に従います。

1. Tomcat Server を停止します。
2. commons-logging-api.jar および commons-logging.jar ファイルを webapps/application_name/WEB-INF/lib/ ディレクトリから削除します。
3. Tomcat Server を再起動します。

Kerberos 認証使用時のエラー

SUSE Linux 9 で有効

症状:

Kerberos 認証を実行すると、「EE_Authentication」エラーが返されます。

解決方法:

iPoz ログ ファイル内にエラーの詳細を取得するように、CA EEM でトレースを有効にします。「libkrb5.so ファイルが存在しません」というエラー メッセージが iPoz.log ファイル内に記録される場合は、既存の libkrb5.so.* ファイルから libkrb5.so ファイルへのリンクを作成します。

このエラーは、認証プロセスが LD_LIBRARY_PATH の中で libkrb5.so ファイルを見つからなかった場合に返されます。

注: iPoz.log ファイルには、CA EEM 上でトレースをオンにした場合にのみログが記録されます。トレースを有効化する方法については、「プログラミング ガイド」を参照してください。

例: リンクの作成

以下の例では、libkrb5.so ファイルの利用可能なバージョンを検索し、リンクを作成します。

```
# find / -name libkrb5.so.*  
/usr/lib/libkrb5.so.17.3.0  
# ln -s /usr/lib/libkrb5.so.17.3.0 /usr/lib/libkrb5.so
```

WebLogic 8.1 アプリケーション サーバ使用時のエラー

症状:

CA EEM Java SDK を使用するアプリケーションを WebLogic 8.1 アプリケーション サーバ上に展開すると、ClassCastException 例外が返されます。

解決方法:

このエラーが返されるのは、HTTP ハンドラとして WebLogic サーバ独自の `HTTPSURLConnection` 実装を使用するようにその WebLogic サーバが構成されている場合です。

このエラーを回避するには、`-DUseSunHttpHandler=true` パラメータを JVM オプションに追加して、WebLogic サーバが SUN ハンドラを使用するように構成します。

パラメータの設定方法の詳細については、JVM のドキュメントを参照してください。

XACML および SPML サービス使用時のエラー

症状:

JRE 1.5 がインストールされた状態で XACML および SPML サービスを使用すると、以下のエラーが返されます。

`java.lang.NullPointerException`

解決方法:

JRE1.5 で XACML および SPML サービスを使用するには、以下の手順に従います。

1. Tomcat Server を停止します。
2. `oasis.war` の `WEB-INF/lib` ディレクトリから `jre/lib/ext` ディレクトリに `xercesImpl.jar` ファイルをコピーします。
3. Tomcat サーバを起動します。

この問題の詳細については、

http://bugs.sun.com/bugdatabase/view_bug.do?bug_id=6219364 を参照してください。

アプリケーションのエクスポートに時間がかかる

Linux で有効

症状:

アプリケーションのエクスポート機能を使用したアプリケーションのエクスポートは、時間がかかります。

解決方法:

アプリケーションのエクスポートにかかる時間を短縮するには、以下の手順に従います。

1. iGateway を停止します。
2. /opt/CA/SharedComponents/iTechnology/ ディレクトリを開きます。
3. S99igateway スクリプト ファイルを以下のように編集します。
 - 以下の項目を変更します。
LD_ASSUME_KERNEL=2.4.1
 - 以下のように変更します。
LD_ASSUME_KERNEL=2.4.1
4. iGateway を開始します。

CA Audit のアンインストール後に CA EEM GUI を起動できない

症状:

CA EEM と同じサーバ上にインストールされた CA Audit をアンインストールすると、以後 CA EEM GUI を起動できません。

解決方法:

CA Audit をアンインストールした後でも、Spin.conf ファイル内に CA Audit スピンドルへの参照が存在する場合は、CA EEM GUI を起動できない可能性があります。 CA EEM GUI を起動するには、Spin.conf から CA Audit 関連のすべてのスピンドルを削除する必要があります。

CA Integrated Threat Management のインストール後に CA EEM GUI を起動できない

Windows Server 2003 SP2 で有効

症状:

CA EEM と同じサーバ上に CA Integrated Threat Management をインストールすると、以後 CA EEM GUI を起動できません。

解決方法:

CA Integrated Threat Management がインストール中に Spin.conf ファイルから <Spindle> タグを削除したために、CA EEM GUI を起動できない可能性があります。

CA EEM GUI を起動するには、Spin.conf ファイルの以下のセクションの前に <Spindle> タグを追加する必要があります。

```
<version>8.1</version>
<directory/>
<config/>
<redirecthttps>true</redirecthttps>
<sendevents>true</sendevents>
</Spindle>
```

上記を以下のように変更します。

```
<Spindle>
<version>8.1</version>
<directory/>
<config/>
<redirecthttps>true</redirecthttps>
<sendevents>true</sendevents>
</Spindle>
```

CA Integrated Threat Management のアンインストール後に CA EEM GUI を起動できない

Windows Server 2003 SP2 で有効

症状:

CA EEM と同じサーバ上にインストールされた CA Integrated Threat Management をアンインストールすると、以後 CA EEM GUI を起動できません。

解決方法:

CA Integrated Threat Management がアンインストール中に Spin.conf ファイルから <Spindle> タグを削除したために、CA EEM GUI を起動できない可能性があります。

CA EEM GUI を起動するには、Spin.conf ファイルの以下のセクションの前に <Spindle> タグを追加する必要があります。

```
<version>8.1</version>
<directory/>
<config/>
<redirecthttps>true</redirecthttps>
<sendevents>true</sendevents>
</Spindle>
```

上記を以下のように変更します。

```
<Spindle>
    <version>8.1</version>
    <directory/>
    <config/>
    <redirecthttps>true</redirecthttps>
    <sendevents>true</sendevents>
</Spindle>
```

カスタム レポートのロードが失敗する、またはロードに長時間がかかる

症状:

カスタム レポートを作成し、後からそのカスタム レポートを表示しようとすると、ロードに失敗するか、ロードされるまでに 10 ~ 15 分、あるいはそれ以上かかります。

解決方法:

カスタム レポートをロードするには、`igateway` サービスを再起動する必要があります。

注: `iGateway` サービスの起動および停止方法の詳細については、「導入ガイド」を参照してください。

CA SiteMinder への接続後、アプリケーション データが失われる

SUSE Linux 9.0 で有効

症状:

30,000 を超えるポリシーを持つアプリケーションを CA EEM サーバに追加し、CA SiteMinder に接続しようとすると、以下のメッセージが表示され、アプリケーション データが失われます。

EE_NOTALLOWED

解決方法:

このエラーは、JVM メモリが不十分なために発生する可能性があります。JVM メモリを増やすには、ConfigTool.exe を使用して igateway.conf ファイルに以下のコード行を追加する必要があります。

```
<JVMSettings>
    <loadjvm>true</loadjvm>
    <!-- Increasing the jvm heap memory -->
    <Properties name="test">
        <jvm-property>-Xmx256M</jvm-property>
    </Properties>
</JVMSettings>
```

前述のコードを追加するには、iTechnology フォルダを開き、ConfigTool.exe を以下のように実行します。

```
./ConfigTool.exe -merge -comp igateway -xml "<JVMSettings><Properties
name=\"MaxJVMHeap\"><jvm-property>-Xmx[memory_size]</jvm-property></Properties></JVMSettings>"
```

この中で、

[memory_size]

は、JVM が使用するメモリ サイズを指定します。各自の要件に応じてこの値を設定する必要があります。

CA SiteMinder への接続時にユーザまたはグループを検索すると完了するまでに長い時間がかかる

CA SiteMinder を通じ、正規表現 * (アスタリスク)を使用してユーザまたはグループを検索すると、CA EEM が結果を表示するのにシステムの設定次第で 20 ~ 45 分 かかってしまいます。

CA EEM r8.4 へのアップグレード後 SAML が動作しない

症状:

CA EEM r8.2.1 から CA EEM r8.4 へアップグレードすると、SAML が動作しません。

解決方法:

CA EEM r8.4 のアップグレード後に SAML が動作するようにするには、以下の手順を実行する必要があります。

1. iTechnology フォルダから以下のファイルを削除します。
 - jaxp-api.jar
 - dom.jar
2. iGateway を再起動します。

イベント ログの設定が表示されない

症状:

以下の手順を実行すると、[イベント ログ設定]ページが表示できません。

1. [イベント ログ設定]ページから別のページに移動するために、CA EEM サーバ内の他の任意のオプションをクリックします。
2. [イベント ログ設定]をクリックします。

解決方法:

[イベント ログ設定]ページが移動した後に同じページに戻る場合は、[レポートの管理]-[設定]-[サービス]-[イベント ログ設定]の順にクリックします。

カスタム マップ Sun One ディレクトリのグローバル グループ メンバシップが正しく表示されない

カスタム マップ Sun One ディレクトリに接続すると、グローバル グループ メンバシップが正しく表示されない場合があります。カスタム マップ Sun One ディレクトリに接続すると、グローバル グループ メンバシップはカスタム マッピングにある以下のパラメータによって決定されます。

グループをコンテナとして使用

このオプションを選択すると、CA EEM によってユーザのグループ メンバシップのみが表示されます。ユーザの拡張グループ メンバシップおよびグループのグループ メンバシップは表示されません。

グループを属性として使用

[グループをコンテナとして使用]を uniqueMember として選択した状態で、このオプションを選択すると、CA EEM によってグループのグループ メンバシップは表示されますが、ユーザのグループ メンバシップは表示されません。

アーカイブ クエリが失敗する

Red Hat Linux Enterprise Server で有効

検索クエリの最後に空白を付加すると、アーカイブ クエリが失敗し、CA EEM によってクエリ結果が表示されません。

アーカイブ クエリの結果が更新されない

アーカイブ クエリが失敗すると、CA EEM によって適切なエラー メッセージが表示されますが、[アーカイブ クエリの結果] ペインが更新されず、[アーカイブ クエリの結果] ペインには前のアーカイブ クエリの結果が表示される場合があります。

[イベント ログ設定]内の[ストレージ フォルダ]フィールド

CA EEM の本リリースでは、CA EEM サーバにおいて[イベント ログ設定]内の[ストレージ フォルダ]フィールドは表示されますが、[ストレージ フォルダ]パラメータはサポートされません。

注：[イベント ログ設定]の詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

HP-UX でのメモリ サイズ

デフォルトでは、HP-UX は iGateway などのプロセスに 256MB のメモリを割り当てます。CA EEM を使用するタスクの使用メモリが 256MB を超えた場合、CA EEM がメモリ不足になり、iGateway がクラッシュする可能性があります。そのため HP-UX が iGateway プロセスに割り当てるメモリ サイズを要件に合わせて増やす必要があります。

SSL が有効なディレクトリに対して非 SSL ポートで接続した場合に認証が失敗する

症状:

外部ディレクトリへの SSL 接続を無効にした後、その外部ディレクトリに SSL ポート 636 を使用して接続しようとすると、認証が失敗し、CA EEM GUI にログインできなくなります。

解決方法:

SSL 接続を無効にしたとしても、SSL ポートを使用して外部ディレクトリに接続することはできません。SSL 接続が設定された外部ディレクトリに非 SSL ポートで接続するには、以下の手順に従います。

1. iPoz.conf ファイルを開き、以下のエントリを編集して有効な非 SSL ポートを反映させます。

```
<ExternalDirPort>non-SSL port</ExternalDirPort>
```

2. iGateway を再起動します。

これで、SSL が有効な外部ディレクトリに対して非 SSL ポートで接続できます。認証は成功し、CA EEM GUI にログインできるようになります。

第 11 章：制限

CA Integrated Threat Management r8.0

CA EEM r8.4 は、CA Integrated Threat Management r8.0 との互換性はありません。したがって、CA EEM r8.4 Server を CA Integrated Threat Management 製品と同じサーバ上で実行する場合は、ご使用のコンピュータを CA Integrated Threat Management r8.1 にアップグレードする必要があります。

ユーザ インターフェースの表示の制限

二重引用や ¥、/ などの英数字以外の文字を使用すると、ユーザ インターフェースに表示の問題が発生します。以下のオブジェクトについては英数字のみを使用してください。

- アクション
- カレンダ
- カスタム マップ ディレクトリ ラベル
- グローバル グループ
- グローバル ユーザ
- フォルダ
- 指定された属性
- 責任の名前
- ポリシー
- リソース クラス
- ユーザ
- ユーザ属性
- ユーザ グループ

Kerberos 認証のための CA EEM サーバのオペレーティング システム要件

CA EEM がサポートするクライアントから Kerberos 認証を行うには、以下のオペレーティング システムのいずれかに CA EEM サーバがインストールされている必要があります。

- krb.client パッケージがインストールされた AIX 5.2 または 5.3
- Red Hat Enterprise Linux 4 または 5
- カーネル パッチ レベルが 120011-14 以降である Solaris 10

重要: CA EEM は、HP-UX プラットフォーム上で Kerberos 認証をサポートしていません。

CA EEM SiteMinder の統合

CA EEM は、以下のプラットフォーム上にある CA SiteMinder との統合をサポートしていません。

- HP-UX
- SuSE Linux

HP-UX 上のポリシーの制限

CA EEM は、HP-UX プラットフォーム上で最大 20,000 個のポリシーをサポートしています。

第 12 章：公開されている修正

この製品に対する公開済みのバグ修正プログラムの完全なリストは、CA Support Online の Published Solutions にあります。

第 13 章：マニュアル選択メニュー

マニュアル選択メニューでは、すべての CA EEM マニュアルに一元的にアクセスできます。以下のようなマニュアル選択メニューがあります。

- 全マニュアルのコンテンツの単一の拡張リスト(HTML 形式)
- コンテンツおよびランク付けされた検索結果内で検索語が強調表示される、全マニュアルにわたる全文検索
- 上位レベルのトピックへ導くブレッドクラム機能
- 全マニュアルにわたる単一のインデックス
- マニュアルの印刷用 PDF 版へのリンク

マニュアル選択メニューを表示するには、Internet Explorer 6 または 7、もしくは Mozilla Firefox 2 が必要です。印刷可能な PDF マニュアルへのマニュアル選択メニュー リンクを利用するには、Adobe Reader 7 または 8 が必要です。Adobe Reader のサポートされているバージョンは、www.adobe.com からダウンロードできます。

この製品の PDF 版のマニュアルは以下のとおりです。

- はじめに
- プログラミング ガイド
- リリース ノート
- オンライン ヘルプ

マニュアル選択メニューを使用するには、以下の手順に従います。

1. 製品のインストール フォルダの中から、マニュアル フォルダを探して開きます。
2. マニュアル選択メニューを開くには、以下のいずれかの方法を使用します。
 - マニュアル選択メニューが、ローカル システム上にあり、Internet Explorer を使用している場合は、Bookshelf.hta ファイルを開きます。
 - マニュアル選択メニューが、リモート システム上にあるか、または Mozilla Firefox を使用している場合は、Bookshelf.html ファイルを開きます。

第 14 章：国際化サポート

「国際化」製品とは、所定のローカル言語版オペレーティング システムおよびサード パーティ製品上で正常に動作し、データの入出力においてローカル言語をサポートする英語版製品です。また、国際製品は、日付、時間、通貨、および番号形式のローカル言語変換を指定できる機能をサポートしています。

翻訳済み製品(ローカライズ済み製品とも言います)とは、製品のユーザ インターフェース、オンライン ヘルプ、その他ドキュメントのローカル言語サポートに加えて、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語でのデフォルトの書式設定をサポートする国際化製品です。

注: CA EEM SDK のローカライズおよび翻訳は行われておりません。

本製品の英語リリースに加えて、CA では、以下の表に掲載されている言語のみをサポートします。

言語	国際化製品	翻訳済み製品
ブラジル/ポルトガル語	はい	いいえ
中国語(簡体)	はい	いいえ
中国語(繁体)	はい	いいえ
フランス語	はい	いいえ
ドイツ語	はい	いいえ
イタリア語	はい	いいえ
日本語	はい	いいえ
韓国語	はい	いいえ
スペイン語	はい	いいえ

付録 A: サードパーティの使用許諾契約

CA EEM は、いくつかのサードパーティ コードを使用します。この付録には、そのコードの使用許諾契約を記載します。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [Softwares Under the Apache License](#) (74 ページ)
- [Adaptive Communication Environment \(ACE\)](#) (78 ページ)
- [Adobe Flex SDK 3.4](#) (79 ページ)
- [Castor](#) (85 ページ)
- [Expat](#) (86 ページ)
- [libcurl 7.18.2](#) (87 ページ)
- [Libxml2 2.6.27](#) (88 ページ)
- [Libxslt 1.1.18](#) (89 ページ)
- [Microsoft Cabinet File Software Development Kit \(CAB SDK\) 1](#) (91 ページ)
- [MIT Kerberos](#) (92 ページ)
- [NUNIT](#) (95 ページ)
- [Aleksey XML Security Library v.1.2.9 and the xmlsec-nss Library](#) (96 ページ)
- [OpenSSL 0.9.8.d and 0.9.8.h](#) (109 ページ)
- [OpenLDAP 2.4 and 2.3.20](#) (112 ページ)
- [PCRE 6.3](#) (113 ページ)
- [zlib 1.2.3](#) (115 ページ)
- [ZThread 2.3.2](#) (115 ページ)

Softwares Under the Apache License

Portions of this product include software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

- Axis 1.1
- Commons Codec 1.3
- Commons Logging 1.1.1
- httpclient 4.0
- Log4cplus 1.0.2
- Log4cxx 0.10.0
- Log4j 1.2.15
- Log4net 1.2.10
- not-yet-commons-ssl 0.3.10
- OpenSAML 1.1
- Xalan-J 2.5.2
- Xerces-C 2.6.0
- Xerces-C 2.8
- Xerces-J 2.9.1
- XML Security Java 1.3

The Apache software is distributed in accordance with the following license agreement:

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

'License' shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

'Licensor' shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

'Legal Entity' shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, 'control' means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

'You' (or 'Your') shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

'Source' form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

'Object' form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and versions to other media types.

'Work' shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

'Derivative Works' shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

'Contribution' shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licenser for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, 'submitted' means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licenser or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licenser for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as 'Not a Contribution.'

'Contributor' shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

(a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and

(b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

(c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

(d) If the Work includes a 'NOTICE' text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an '**AS IS' BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND**', either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of **TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE**. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

Adaptive Communication Environment(ACE)

ACE(TM)、TAO(TM)、CIAO(TM)に関する著作権およびライセンス情報

ACE(TM), TAO(TM) and CIAO(TM) are copyrighted by Douglas C. Schmidt and his research group at Washington University, University of California, Irvine, and Vanderbilt University Copyright (c) 1993-2003, all rights reserved. Since ACE TAO CIAO are open-source, free software, you are free to use, modify, copy, and distribute--perpetually and irrevocably--the ACE TAO CIAO source code and object code produced from the source, as well as copy and distribute modified versions of this software. You must, however, include this copyright statement along with code built using ACE TAO CIAO.

You can use ACE TAO CIAO in proprietary software and are under no obligation to redistribute any of your source code that is built using ACE TAO CIAO. Note, however, that you may not do anything to the ACE TAO CIAO code, such as copyrighting it yourself or claiming authorship of the ACE TAO CIAO code, that will prevent ACE TAO CIAO from being distributed freely using an open-source development model. You needn't inform anyone that you're using ACE TAO CIAO in your software, though we encourage you to let us know so we can promote your project in the ACE TAO CIAO success stories.

ACE TAO CIAO are provided as is with no warranties of any kind, including the warranties of design, merchantability, and fitness for a particular purpose, noninfringement, or arising from a course of dealing, usage or trade practice. Moreover, ACE TAO CIAO are provided with no support and without any obligation on the part of Washington University, UC Irvine, Vanderbilt University, their employees, or students to assist in its use, correction, modification, or enhancement. A number of companies provide commercial support for ACE and TAO, however. ACE, TAO and CIAO are Y2K-compliant, as long as the underlying OS platform is Y2K-compliant.

Washington University, UC Irvine, Vanderbilt University, their employees, and students shall have no liability with respect to the infringement of copyrights, trade secrets or any patents by ACE TAO CIAO or any part thereof. Moreover, in no event will Washington University, UC Irvine, or Vanderbilt University, their employees, or students be liable for any lost revenue or profits or other special, indirect and consequential damages.

The ACE, TAO and CIAO web sites are maintained by the Center for Distributed Object Computing of Washington University for the development of open-source software as part of the open-source software community. By submitting comments, suggestions, code, code snippets, techniques (including that of usage), and algorithms, submitters acknowledge that they have the right to do so, that any such submissions are given freely and unreservedly, and that they waive any claims to copyright or ownership. In addition, submitters acknowledge that any such submission might become part of the copyright maintained on the overall body of code, which comprises the ACE, TAO and CIAO software. By making a submission, submitter agree to these terms. Furthermore, submitters acknowledge that the incorporation or modification of such submissions is entirely at the discretion of the moderators of the open-source ACE TAO CIAO projects or their designees.

The names ACE(TM), TAO(TM), CIAO(TM), Washington University, UC Irvine, and Vanderbilt University, may not be used to endorse or promote products or services derived from this source without express written permission from Washington University, UC Irvine, or Vanderbilt University. Further, products or services derived from this source may not be called ACE(TM), TAO(TM), or CIAO(TM) nor may the name Washington University, UC Irvine, or Vanderbilt University appear in their names, without express written permission from Washington University, UC Irvine, and Vanderbilt University.

If you have any suggestions, additions, comments, or questions, please let me know.

Douglas C. Schmidt

Adobe Flex SDK 3.4

This CA product contains the above software, the use of which is governed by the following additional terms:

1. If Licensee requires any additional Adobe software in order to use the CA Product (i) Licensee shall obtain a valid license for such software from Adobe, and (ii) the use of which will be governed by end user license agreement that ships with such Adobe software;
2. Adobe disclaims all warranties and representations with respect to the CA Product; and
3. Adobe disclaims all liability with regard to Licensee's use of the CA Product and any Adobe software included therewith.

Additional Legal Notices:

© 2004-2006 Adobe Macromedia LLC Software and its Licensors. All rights reserved.
© 2004-2006 Adobe Systems Incorporated and its Licensors. All rights reserved.

The contents of this file are subject to the Netscape Public License Version 1.1 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://www.mozilla.org/NPL/>

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is Mozilla Communicator client code, released March 31, 1998.

The Initial Developer of the Original Code is Netscape Communications Corporation. Portions created by Netscape are Copyright (C) 1998-1999 Netscape Communications Corporation. All Rights Reserved.

Copyright 1991 by the Massachusetts Institute of Technology

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation

for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of M.I.T. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. M.I.T. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

Pool.c_Copyright 1987 - NeXT, Inc. and Graphics.c_Copyright 1988 NeXT, Inc. as an unpublished work. All Rights Reserved.

Portions of this code are licensed from Apple Computer, Inc. under the terms of the Apple Public Source License, Version 1.1. The source code version of these portions and the license are available at <http://www.opensource.apple.com/apsl/>.

ICU4J license - ICU4J 1.3.1 and later

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1995-2001 International Business Machines Corporation and others
All rights reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, provided that the above copyright notice(s) and this permission notice appear in all copies of the Software and that both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in supporting documentation.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR

HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

libwww Copyright Notice

libwww: W3C|&&s implementation of HTTP can be found at:
<http://www.w3.org/Library/>

Copyright © 1994-2000 World Wide Web Consortium, (Massachusetts Institute of Technology, Institut National de Recherche en Informatique et en Automatique, Keio University). All Rights Reserved. This program is distributed under the W3C Software Intellectual Property License. This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See W3C License <http://www.w3.org/Consortium/Legal/> for more details.

Copyright © 1995 CERN. "This product includes computer software created and made available by CERN. This acknowledgment shall be mentioned in full in any product which includes the CERN computer software included herein or parts thereof.

Copyright 1995 by: Massachusetts Institute of Technology (MIT), CERN
This W3C software is being provided by the copyright holders under the following license. By obtaining, using and/or copying this software, you agree that you have read, understood, and will comply with the following terms and conditions:

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee or royalty is hereby granted, provided that the full text of this NOTICE appears on ALL copies of the software and documentation or portions thereof, including modifications, that you make.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS," AND COPYRIGHT HOLDERS MAKE NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED. BY WAY OF EXAMPLE, BUT NOT LIMITATION, COPYRIGHT HOLDERS MAKE NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE OR THAT THE USE OF THE SOFTWARE OR DOCUMENTATION WILL NOT INFRINGE ANY THIRD PARTY PATENTS, COPYRIGHTS, TRADEMARKS OR OTHER RIGHTS. COPYRIGHT HOLDERS WILL BEAR NO LIABILITY FOR ANY USE OF THIS SOFTWARE OR DOCUMENTATION.

The name and trademarks of copyright holders may NOT be used in advertising or publicity pertaining to the software without specific, written prior permission. Title to copyright in this software and any associated documentation will at all times remain with copyright holders.

W3C SOFTWARE NOTICE AND LICENSE
<http://www.w3.org/Consortium/Legal/2002/copyright-software-20021231>

This work (and included software, documentation such as READMEs, or other related items) is being provided by the copyright holders under the following license. By obtaining, using and/or copying this work, you (the licensee) agree that you have read, understood, and will comply with the following terms and conditions.

Permission to copy, modify, and distribute this software and its documentation, with or without modification, for any purpose and without fee or royalty is hereby granted, provided that you include the following on ALL copies of the software and documentation or portions thereof, including modifications:

1. The full text of this NOTICE in a location viewable to users of the redistributed or derivative work.
2. Any pre-existing intellectual property disclaimers, notices, or terms and conditions. If none exist, the W3C Software Short Notice should be included (hypertext is preferred, text is permitted) within the body of any redistributed or derivative code.
3. Notice of any changes or modifications to the files, including the date changes were made. (We recommend you provide URIs to the location from which the code is derived.)

THIS SOFTWARE AND DOCUMENTATION IS PROVIDED "AS IS," AND COPYRIGHT HOLDERS MAKE NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE OR THAT THE USE OF THE SOFTWARE OR DOCUMENTATION WILL NOT INFRINGE ANY THIRD PARTY PATENTS, COPYRIGHTS, TRADEMARKS OR OTHER RIGHTS.

COPYRIGHT HOLDERS WILL NOT BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, SPECIAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF ANY USE OF THE SOFTWARE OR DOCUMENTATION.

The name and trademarks of copyright holders may NOT be used in advertising or publicity pertaining to the software without specific, written prior permission. Title to copyright in this software and any associated documentation will at all times remain with copyright holders.

This formulation of W3C's notice and license became active on December 31 2002. This version removes the copyright ownership notice such that this license can be used with materials other than those owned by the W3C, reflects that ERCIM is now a host of the W3C, includes references to this specific dated version of the license, and removes the ambiguous grant of "use". Otherwise, this version is the same as the previous version and is written so as to preserve the Free Software Foundation's assessment of GPL compatibility and OSI's certification under the Open Source Definition. Please see our Copyright FAQ for common questions about using materials from our site, including specific terms and conditions for packages like libwww, Amaya, and Jigsaw. Other questions about this notice can be directed to site-policy@w3.org.

Copyright 1991 by the Massachusetts Institute of Technology
Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of M.I.T. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. M.I.T. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.
Calling this script install-sh is preferred over install.sh, to prevent `make` implicit rules from creating a file called install from it when there is no Makefile.

This script is compatible with the BSD install script, but was written from scratch. It can only install one file at a time, a restriction shared with many OS&&|s install programs.

Copyright 1990, 1998 The Open Group
Copyright (c) 2000 The XFree86 Project, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation.

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND,
EXPRESS

OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF
MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND
NONINFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL THE OPEN GROUP BE LIABLE FOR ANY CLAIM,
DAMAGES OR
OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR
OTHERWISE,
ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE
USE OR
OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of The Open Group shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from The Open Group.

This product includes software that is Copyright (c) 2005, Mitsubishi Electric Research Laboratory Inc., All Rights Reserved.

AltiVec technology is used with the permission of Motorola, Inc.

Speech compression and decompression technology licensed by Nellymoser, Inc.
(<http://www.nellymoser.com>)

MPEG Layer-3 audio compression technology licensed by Fraunhofer IIS and THOMSON multimedia (<http://www.iis.fhg.de/amm/>)

ADPCM speech compression algorithm is used with the permission of Sun Microsystems, Inc.

Copyright 1991 by Andreas Stolcke
Copyright 1990 by Solbourne Computer Inc.
Longmont, Colorado
All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Solbourne not be used in advertising in publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

ANDREAS STOLCKE AND SOLBOURNE COMPUTER INC. DISCLAIMS ALL WARRANTIES
WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF
MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL ANDREAS
STOLCKE
OR SOLBOURNE BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR
CONSEQUENTIAL
DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF
USE, DATA
OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR
OTHER
TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE
OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Portions of this code are licensed from Catharon Productions, Inc.

Portions Copyright © 2001 artofcode LLC.
Portions Copyright © 1996, 2001 Artifex Software Inc.
This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
Portions Copyright © 1998 Soft Horizons.
Portions Copyright © 2001 URW++.
All Rights Reserved.

Castor

この製品の一部には、Intalio, Inc. によって提供され、以下の使用許諾契約書に従って配布されるソフトウェアが含まれています。

Exolab; Intalio Inc.

Copyright 1999-2003 (C) Intalio Inc. All Rights Reserved.

Redistribution and use of this software and associated documentation ("Software"), with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain copyright statements and notices.
Redistributions must also contain a copy of this document.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name "ExoLab" must not be used to endorse or promote products derived from this Software without prior written permission of Intalio Inc. For written permission, please contact info@exolab.org.
4. Products derived from this Software may not be called "Castor" nor may "Castor" appear in their names without prior written permission of Intalio Inc. Exolab, Castor and Intalio are trademarks of Intalio Inc.
5. Due credit should be given to the ExoLab Project

(<http://www.exolab.org/>).

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY INTALIO AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTALIO OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Expat

この製品の一部には、Thai Open Source Software Center Ltd. によって開発されたソフトウェアが含まれます。EXPAT ソフトウェアは、以下の使用許諾契約書に従って配布されます。

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

libcurl 7.18.2

This product includes libcurl 7.18.2, the use of which is governed by the following terms:

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2008, Daniel Stenberg, .

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

Libxml2 2.6.27

Portions of this product include software developed by the Daniel Veillard. The libxml2 software is distributed in accordance with the following license agreement.

Copyright (C) 1998-2002 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

Libxslt 1.1.18

Portions of this product include software developed by Daniel Veillard, Bjorn Reese and Daniel Stenberg. The Libxslt software is distributed in accordance with the following license agreement.

Copyright (C) 1998-2002 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR

IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FIT-

NESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE

DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER

IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CON-

NECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

* Copyright (C) 2000 Bjorn Reese and Daniel Veillard.

*

* Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any

* purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above

* copyright notice and this permission notice appear in all copies.

*

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED

* WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF

* MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND

* CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

* Copyright (C) 2000 Gary Pennington and Daniel Veillard.

*

* Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any

* purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above

* copyright notice and this permission notice appear in all copies.

*

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED

* WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF

* MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE
AUTHORS AND

* CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE
MANNER.

*

* Copyright (C) 1998 Bjorn Reese and Daniel Stenberg.

*

* Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any

* purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above

* copyright notice and this permission notice appear in all copies.

*

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS
OR IMPLIED

* WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED
WARRANTIES OF

* MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE
AUTHORS AND

* CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE
MANNER.

Microsoft Cabinet File Software Development Kit (CAB SDK) 1

This product contains a copy of the Microsoft Cabinet (CAB) File Software SDK. All title, rights and interests therein is retained by Microsoft Corporation.

MIT Kerberos

この製品の一部には、Kerberos Contributors によって開発されたソフトウェアが含まれます。この MIT Kerberos のソフトウェアは、以下の使用許諾契約書に従って配布されます。

Copyright (c) 1985-2005 by the Massachusetts Institute of Technology.

All rights reserved.

Export of this software from the United States of America may require a specific license from the United States Government. It is the responsibility of any person or organization contemplating export to obtain such a license before exporting.

WITHIN THAT CONSTRAINT, permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of M.I.T. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Furthermore if you modify this software you must label your software as modified software and not distribute it in such a fashion that it might be confused with the original MIT software. M.I.T. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Individual source code files are copyright MIT, Cygnus Support, OpenVision, Oracle, Sun Soft, FundsXpress, and others.

Project Athena, Athena, Athena MUSE, Discuss, Hesiod, Kerberos, Moira, and Zephyr are trademarks of the Massachusetts Institute of Technology (MIT). No commercial use of these trademarks may be made without prior written permission of MIT.

"Commercial use" means use of a name in a product or other for-profit manner. It does NOT prevent a commercial firm from referring to the MIT trademarks in order to convey information (although in doing so, recognition of their trademark status should be given).

The following copyright and permission notice applies to the OpenVision Kerberos Administration system located in kadmin/create, kadmin/dbutil, kadmin/passwd, kadmin/server, lib/kadm5, and portions of lib/rpc:

Copyright, OpenVision Technologies, Inc., 1996,

All Rights Reserved.

WARNING: Retrieving the OpenVision Kerberos Administration system source code, as described below, indicates your acceptance of the following terms. If you do not agree to the following terms, do not retrieve the OpenVision Kerberos administration system.

You may freely use and distribute the Source Code and Object Code compiled from it, with or without modification, but this Source Code is provided to you "AS IS" EXCLUSIVE OF ANY WARRANTY, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR ANY OTHER WARRANTY, WHETHER EXPRESS OR IMPLIED. IN NO EVENT WILL OPENVISION HAVE ANY LIABILITY FOR ANY LOST PROFITS, LOSS OF DATA OR COSTS OF PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES, OR FOR ANY SPECIAL, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THIS AGREEMENT, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE RESULTING FROM THE USE OF THE SOURCE CODE, OR THE FAILURE OF THE SOURCE CODE TO PERFORM, OR FOR ANY OTHER REASON.

OpenVision retains all copyrights in the donated Source Code. OpenVision also retains copyright to derivative works of the Source Code, whether created by OpenVision or by a third party. The OpenVision copyright notice must be preserved if derivative works are made based on the donated Source Code. OpenVision Technologies, Inc. has donated this Kerberos Administration system to MIT for inclusion in the standard Kerberos 5 distribution. This donation underscores our commitment to continuing Kerberos technology development and our gratitude for the valuable work which has been performed by MIT and the Kerberos community.

Portions contributed by Matt Crawford were work performed at Fermi National Accelerator Laboratory, which is operated by Universities Research Association, Inc., under contract DE-AC02-76CHO3000 with the U.S. Department of Energy.

The implementation of the Yarrow pseudo-random number generator in src/lib/crypto/yarrow has the following copyright:

Copyright 2000 by Zero-Knowledge Systems, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Zero-Knowledge Systems, Inc. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Zero-Knowledge Systems, Inc. makes no representations about the suitability of this software for any purpose.

It is provided "as is" without express or implied warranty. ZERO-KNOWLEDGE SYSTEMS, INC. DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL ZERO-KNOWLEDGE SYSTEMS, INC. BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

The implementation of the AES encryption algorithm in src/lib/crypto/aes has the following copyright:

Copyright (c) 2001, Dr Brian Gladman , Worcester, UK.

All rights reserved.

LICENSE TERMS The free distribution and use of this software in both source and binary form is allowed (with or without changes) provided that: 1. distributions of this source code include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer; 2. distributions in binary form include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other associated materials; 3. the copyright holder's name is not used to endorse products built using this software without specific written permission. DISCLAIMER This software is provided 'as is' with no explicit or implied warranties in respect of any properties, including, but not limited to, correctness and fitness for purpose.

The implementation of the RPCSEC_GSS authentication flavor in src/lib/rpc has the following copyright:

Copyright (c) 2000 The Regents of the University of Michigan.

All rights reserved.

Copyright (c) 2000 Dug Song.

All rights reserved, all wrongs reversed.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met: 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution. 3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NUNIT

CA ライセンスされた製品は、NUNIT r.2.2.8. を使用します。Copyright © 2002-2004 James W. Newkirk, Michael C. Two, Alexei A. Vorontsov, Charlie Poole or Copyright © 2000-2004 Philip A. Craig. 上記のコンポーネントの使用に関する契約条件は以下のとおりです。

Copyright © 2002-2004 James W. Newkirk, Michael C. Two, Alexei A. Vorontsov, Charlie Poole

Copyright © 2000-2004 Philip A. Craig

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment (see the following) in the product documentation is required.

Portions Copyright © 2002 James W. Newkirk, Michael C. Two, Alexei A. Vorontsov or Copyright © 2000-2002 Philip A. Craig

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Aleksey XML Security Library v.1.2.9 and the xmlsec-nss Library

Terms and Conditions for the Use of Aleksey XML Security Library v.1.2.9 and the xmlsec-nss library:

Copyright (C) 2002-2003 Aleksey Sanin. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE ALEKSEY SANIN BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Aleksey Sanin shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

xmlsec-nss Library

This product includes the xmlsec-nss library, which is subject to, among others, the Mozilla Public License v.1.1. You may not use this library except in compliance with such license.

Terms and Conditions for the Use of xmlsec-nss:

Copyright (C) 2002-2003 Aleksey Sanin. All Rights Reserved.

Copyright (c) 2003 America Online, Inc. All rights reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

Portions of the Software were created using source code and/or APIs governed by the Mozilla Public License (MPL). The MPL is available at <http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html>. The MPL permits such portions to be distributed with code not governed by MPL, as long as the requirements of MPL are fulfilled for such portions.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE ALEKSEY SANIN BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Aleksey Sanin shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

Mozilla Public License v1.1 for xmlsec-nss

This product includes the xmlsec-nss library, which is subject to, among others, the Mozilla Public License v.1.1. You may not use this library except in compliance with such license.

Terms and Conditions for the Use of xmlsec-nss:

MOZILLA PUBLIC LICENSE

バージョン 1.1

1. Definitions.

1.0.1. "Commercial Use" means distribution or otherwise making the Covered Code available to a third party.

1.1. "Contributor" means each entity that creates or contributes to the creation of Modifications.

1.2. "Contributor Version" means the combination of the Original Code, prior Modifications used by a Contributor, and the Modifications made by that particular Contributor.

1.3. "Covered Code" means the Original Code or Modifications or the combination of the Original Code and Modifications, in each case including portions thereof.

1.4. "Electronic Distribution Mechanism" means a mechanism generally accepted in the software development community for the electronic transfer of data.

1.5. "Executable" means Covered Code in any form other than Source Code.

1.6. "Initial Developer" means the individual or entity identified as the Initial Developer in the Source Code notice required by Exhibit A.

1.7. "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.

1.8. "License" means this document.

1.8.1. "Licensable" means having the right to grant, to the maximum extent possible, whether at the time of the initial grant or subsequently acquired, any and all of the rights conveyed herein.

1.9. "Modifications" means any addition to or deletion from the substance or structure of either the Original Code or any previous Modifications. When Covered Code is released as a series of files, a Modification is:

A. Any addition to or deletion from the contents of a file containing Original Code or previous Modifications.

B. Any new file that contains any part of the Original Code or previous Modifications.

1.10. "Original Code" means Source Code of computer software code which is described in the Source Code notice required by Exhibit A as Original Code, and which, at the time of its release under this License is not already Covered Code governed by this License.

1.10.1. "Patent Claims" means any patent claim(s), now owned or hereafter acquired, including without limitation, method, process, and apparatus claims, in any patent Licensable by grantor.

1.11. "Source Code" means the preferred form of the Covered Code for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an Executable, or source code differential comparisons against either the Original Code or another well known, available Covered Code of the Contributor's choice. The Source Code can be in a compressed or archival form, provided the appropriate decompression or de-archiving software is widely available for no charge.

1.12. "You" (or "Your") means an individual or a legal entity exercising rights under, and complying with all of the terms of, this License or a future version of this License issued under Section 6.1. For legal entities, "You" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with You. For purposes of this definition, "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of more than fifty percent (50%) of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. Source Code License.

2.1. The Initial Developer Grant.

The Initial Developer hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, subject to third party intellectual property claims:

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Initial Developer to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Original Code (or portions thereof) with or without Modifications, and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patents Claims infringed by the making, using or selling of Original Code, to make, have made, use, practice, sell, and offer for sale, and/or otherwise dispose of the Original Code (or portions thereof).

(c) the licenses granted in this Section 2.1(a) and (b) are effective on the date Initial Developer first distributes Original Code under the terms of this License.

(d) Notwithstanding Section 2.1(b) above, no patent license is granted: 1) for code that You delete from the Original Code; 2) separate from the Original Code; or 3) for infringements caused by: i) the modification of the Original Code or ii) the combination of the Original Code with other software or devices.

2.2. Contributor Grant.

Subject to third party intellectual property claims, each Contributor hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Contributor, to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Modifications created by such Contributor (or portions thereof) either on an unmodified basis, with other Modifications, as Covered Code and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patent Claims infringed by the making, using, or selling of Modifications made by that Contributor either alone and/or in combination with its Contributor Version (or portions of such combination), to make, use, sell, offer for sale, have made, and/or otherwise dispose of: 1) Modifications made by that Contributor (or portions thereof); and 2) the combination of Modifications made by that Contributor with its Contributor Version (or portions of such combination).

(c) the licenses granted in Sections 2.2(a) and 2.2(b) are effective on the date Contributor first makes Commercial Use of the Covered Code.

(d) Notwithstanding Section 2.2(b) above, no patent license is granted: 1) for any code that Contributor has deleted from the Contributor Version; 2) separate from the Contributor Version; 3) for infringements caused by: i) third party modifications of Contributor Version or ii) the combination of Modifications made by that Contributor with other software (except as part of the Contributor Version) or other devices; or 4) under Patent Claims infringed by Covered Code in the absence of Modifications made by that Contributor.

3. Distribution Obligations.

3.1. Application of License. The Modifications which You create or to which You contribute are governed by the terms of this License, including without limitation Section 2.2. The Source Code version of Covered Code may be distributed only under the terms of this License or a future version of this License released under Section 6.1, and You must include a copy of this License with every copy of the Source Code You distribute. You may not offer or impose any terms on any Source Code version that alters or restricts the applicable version of this License or the recipients' rights hereunder. However, You may include an additional document offering the additional rights described in Section 3.5.

3.2. Availability of Source Code. Any Modification which You create or to which You contribute must be made available in Source Code form under the terms of this License either on the same media as an Executable version or via an accepted Electronic Distribution Mechanism to anyone to whom you made an Executable version available; and if made available via Electronic Distribution Mechanism, must remain available for at least twelve (12) months after the date it initially became available, or at least six (6) months after a subsequent version of that particular Modification has been made available to such recipients. You are responsible for ensuring that the Source Code version remains available even if the Electronic Distribution Mechanism is maintained by a third party.

3.3. Description of Modifications. You must cause all Covered Code to which You contribute to contain a file documenting the changes You made to create that Covered Code and the date of any change. You must include a prominent statement that the Modification is derived, directly or indirectly, from Original Code provided by the Initial Developer and including the name of the Initial Developer in (a) the Source Code, and (b) in any notice in an Executable version or related documentation in which You describe the origin or ownership of the Covered Code.

3.4. Intellectual Property Matters

(a) Third Party Claims. If Contributor has knowledge that a license under a third party's intellectual property rights is required to exercise the rights granted by such Contributor under Sections 2.1 or 2.2, Contributor must include a text file with the Source Code distribution titled "LEGAL" which describes the claim and the party making the claim in sufficient detail that a recipient will know whom to contact. If Contributor obtains such knowledge after the Modification is made available as described in Section 3.2, Contributor shall promptly modify the LEGAL file in all copies Contributor makes available thereafter and shall take other steps (such as notifying appropriate mailing lists or newsgroups) reasonably calculated to inform those who received the Covered Code that new knowledge has been obtained.

(b) Contributor APIs. If Contributor's Modifications include an application programming interface and Contributor has knowledge of patent licenses which are reasonably necessary to implement that API, Contributor must also include this information in the LEGAL file.

(c) Representations. Contributor represents that, except as disclosed pursuant to Section 3.4(a) above, Contributor believes that Contributor's Modifications are Contributor's original creation(s) and/or Contributor has sufficient rights to grant the rights conveyed by this License.

3.5. Required Notices. You must duplicate the notice in Exhibit A in each file of the Source Code. If it is not possible to put such notice in a particular Source Code file due to its structure, then You must include such notice in a location (such as a relevant directory) where a user would be likely to look for such a notice. If You created one or more Modification(s) You may add your name as a Contributor to the notice described in Exhibit A. You must also duplicate this License in any documentation for the Source Code where You describe recipients' rights or ownership rights relating to Covered Code. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf, and not on behalf of the Initial Developer or any Contributor. You must make it absolutely clear than any such warranty, support, indemnity or liability obligation is offered by You alone, and You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of warranty, support, indemnity or liability terms You offer.

3.6. Distribution of Executable Versions. You may distribute Covered Code in Executable form only if the requirements of Section 3.1-3.5 have been met for that Covered Code, and if You include a notice stating that the Source Code version of the Covered Code is available under the terms of this License, including a description of how and where You have fulfilled the obligations of Section 3.2. The notice must be conspicuously included in any notice in an Executable version, related documentation or collateral in which You describe recipients' rights relating to the Covered Code. You may distribute the Executable version of Covered Code or ownership rights under a license of Your choice, which may contain terms different from this License, provided that You are in compliance with the terms of this License and that the license for the Executable version does not attempt to limit or alter the recipient's rights in the Source Code version from the rights set forth in this License. If You distribute the Executable version under a different license You must make it absolutely clear that any terms which differ from this License are offered by You alone, not by the Initial Developer or any Contributor. You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of any such terms You offer.

3.7. Larger Works. You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In such a case, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code.

4. Inability to Comply Due to Statute or Regulation.

If it is impossible for You to comply with any of the terms of this License with respect to some or all of the Covered Code due to statute, judicial order, or regulation then You must: (a) comply with the terms of this License to the maximum extent possible; and (b) describe the limitations and the code they affect. Such description must be included in the **LEGAL** file described in Section 3.4 and must be included with all distributions of the Source Code. Except to the extent prohibited by statute or regulation, such description must be sufficiently detailed for a recipient of ordinary skill to be able to understand it.

5. Application of this License.

This License applies to code to which the Initial Developer has attached the notice in Exhibit A and to related Covered Code.

6. Versions of the License.

6.1. New Versions. Netscape Communications Corporation ("Netscape") may publish revised and/or new versions of the License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number.

6.2. Effect of New Versions. Once Covered Code has been published under a particular version of the License, You may always continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Covered Code under the terms of any subsequent version of the License published by Netscape. No one other than Netscape has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

6.3. Derivative Works. If You create or use a modified version of this License (which you may only do in order to apply it to code which is not already Covered Code governed by this License), You must (a) rename Your license so that the phrases "Mozilla", "MOZILLAPL", "MOZPL", "Netscape", "MPL", "NPL" or any confusingly similar phrase do not appear in your license (except to note that your license differs from this License) and (b) otherwise make it clear that Your version of the license contains terms which differ from the Mozilla Public License and Netscape Public License. (Filling in the name of the Initial Developer, Original Code or Contributor in the notice described in Exhibit A shall not of themselves be deemed to be modifications of this License.)

7. DISCLAIMER OF WARRANTY.

COVERED CODE IS PROVIDED UNDER THIS LICENSE ON AN "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES THAT THE COVERED CODE IS FREE OF DEFECTS, MERCHANTABILITY, FIT FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGEMENT. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE COVERED CODE IS WITH YOU. SHOULD ANY COVERED CODE PROVE DEFECTIVE IN ANY RESPECT, YOU (NOT THE INITIAL DEVELOPER OR ANY OTHER CONTRIBUTOR) ASSUME THE COST OF ANY NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. THIS DISCLAIMER OF WARRANTY CONSTITUTES AN ESSENTIAL PART OF THIS LICENSE. NO USE OF ANY COVERED CODE IS AUTHORIZED HEREUNDER EXCEPT UNDER THIS DISCLAIMER.

8. TERMINATION.

8.1. This License and the rights granted hereunder will terminate automatically if You fail to comply with terms herein and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of the breach. All sublicenses to the Covered Code which are properly granted shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, must remain in effect beyond the termination of this License shall survive.

8.2. If You initiate litigation by asserting a patent infringement claim (excluding declaratory judgment actions) against Initial Developer or a Contributor (the Initial Developer or Contributor against whom You file such action is referred to as "Participant") alleging that:

- (a) such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent, then any and all rights granted by such Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 of this License shall, upon 60 days notice from Participant terminate prospectively, unless if within 60 days after receipt of notice You either: (i) agree in writing to pay Participant a mutually agreeable reasonable royalty for Your past and future use of Modifications made by such Participant, or (ii) withdraw Your litigation claim with respect to the Contributor Version against such Participant. If within 60 days of notice, a reasonable royalty and payment arrangement are not mutually agreed upon in writing by the parties or the litigation claim is not withdrawn, the rights granted by Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 automatically terminate at the expiration of the 60 day notice period specified above.
- (b) any software, hardware, or device, other than such Participant's Contributor Version, directly or indirectly infringes any patent, then any rights granted to You by such Participant under Sections 2.1(b) and 2.2(b) are revoked effective as of the date You first made, used, sold, distributed, or had made, Modifications made by that Participant.

8.3. If You assert a patent infringement claim against Participant alleging that such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent where such claim is resolved (such as by license or settlement) prior to the initiation of patent infringement litigation, then the reasonable value of the licenses granted by such Participant under Sections 2.1 or 2.2 shall be taken into account in determining the amount or value of any payment or license.

8.4. In the event of termination under Sections 8.1 or 8.2 above, all end user license agreements (excluding distributors and resellers) which have been validly granted by You or any distributor hereunder prior to termination shall survive termination.

9. LIMITATION OF LIABILITY.

UNDER NO CIRCUMSTANCES AND UNDER NO LEGAL THEORY, WHETHER TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), CONTRACT, OR OTHERWISE, SHALL YOU, THE INITIAL DEVELOPER, ANY OTHER CONTRIBUTOR, OR ANY DISTRIBUTOR OF COVERED CODE, OR ANY SUPPLIER OF ANY OF SUCH PARTIES, BE LIABLE TO ANY PERSON FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY CHARACTER INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF GOODWILL, WORK STOPPAGE, COMPUTER FAILURE OR MALFUNCTION, OR ANY AND ALL OTHER COMMERCIAL DAMAGES OR LOSSES, EVEN IF SUCH PARTY SHALL HAVE BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION OF LIABILITY SHALL NOT APPLY TO LIABILITY FOR DEATH OR PERSONAL INJURY RESULTING FROM SUCH PARTY'S NEGLIGENCE TO THE EXTENT APPLICABLE LAW PROHIBITS SUCH LIMITATION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS EXCLUSION AND LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

10. U.S. GOVERNMENT END USERS.

The Covered Code is a "commercial item," as that term is defined in 48 C.F.R. 2.101 (Oct. 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept. 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4 (June 1995), all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

11. MISCELLANEOUS.

This License represents the complete agreement concerning subject matter hereof. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed only to the extent necessary to make it enforceable. This License shall be governed by California law provisions (except to the extent applicable law, if any, provides otherwise), excluding its conflict-of-law provisions. With respect to disputes in which at least one party is a citizen of, or an entity chartered or registered to do business in the United States of America, any litigation relating to this License shall be subject to the jurisdiction of the Federal Courts of the Northern District of California, with venue lying in Santa Clara County, California, with the losing party responsible for costs, including without limitation, court costs and reasonable attorneys' fees and expenses. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter shall not apply to this License.

12. RESPONSIBILITY FOR CLAIMS.

As between Initial Developer and the Contributors, each party is responsible for claims and damages arising, directly or indirectly, out of its utilization of rights under this License and You agree to work with Initial Developer and Contributors to distribute such responsibility on an equitable basis. Nothing herein is intended or shall be deemed to constitute any admission of liability.

13. MULTIPLE-LICENSED CODE.

Initial Developer may designate portions of the Covered Code as "Multiple-Licensed". "Multiple-Licensed" means that the Initial Developer permits you to utilize portions of the Covered Code under Your choice of the NPL or the alternative licenses, if any, specified by the Initial Developer in the file described in Exhibit A.

EXHIBIT A -Mozilla Public License.

``The contents of this file are subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://www.mozilla.org/MPL/>

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis,
WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is _____.

The Initial Developer of the Original Code is _____.

Portions created by _____ are Copyright (C)
_____. All Rights Reserved.

Contributor(s): _____.

Alternatively, the contents of this file may be used under the terms of the _____ license (the "[__] License"), in which case the provisions of [__] License are applicable instead of those above. If you wish to allow use of your version of this file only under the terms of the [__] License and not to allow others to use your version of this file under the MPL, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the [__] License. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this file under either the MPL or the [__] License."

[NOTE: The text of this Exhibit A may differ slightly from the text of the notices in the Source Code files of the Original Code. You should use the text of this Exhibit A rather than the text found in the Original Code Source Code for Your Modifications.]

=====

LEGAL form mozilla source code base directory

=====

Please be apprised of the following Legal Notices:

A) The U.S. District Court for the Eastern District of Virginia has ruled that the Netscape Navigator code does not infringe Wang's U.S. Patent No. 4,751,669 ("the '669 Patent") because: 1) HTML is not Videotex as defined by the '669 patent; 2) web servers are not central suppliers; and 3) Navigator does not "connect," as defined by the '669 Patent, to web servers on the Internet. Wang may appeal this decision to the Federal Circuit. Wang contended that its Patent disclosing a "Videotext" system, is infringed by the following functionality in the Netscape Navigator code: 1) the animated logo and status line indicators --See Claims 1,8 and 9; 2) the "File Save As" function --See Claims 23-27; 3) Bookmarks and Rename Bookmarks in the Properties window --See Claims 20-22; 4) storing HTML, GIF, and JPEG files and adding filename extensions --See Claim 38

B) Intermind owns pending U.S. patent applications on communications systems which employ metadata ("channel objects") to define a control structure for information transfer. The Netscape code does not infringe as released; however, modifications which utilize channel objects as described by Intermind should be considered carefully. The following is a statement from Intermind: "Intermind's claims fundamentally involve the use of a control structure to automate communications. ...The essence of Intermind's top claim is that two devices sender and receiver have persistent storage, communicate over a network, and exchange a control structure including metadata which describes: 1) what information is to be updated, 2) when to update this information, and 3) how to transfer the updated information. In addition, at least the receiving device must be able to process the metadata in order to perform the update determination and transfer. Any digital communications system which incorporates all of these elements will be covered by Intermind's patents." See [Intermind.com](http://www.intermind.com).

C) Stac, Inc., and its licensing agent Hi/fn, own several patents which disclose data compression methods implementing an LZS compression algorithm, including U.S. Patent Nos. 4,701,745 and 5,016,009 ("the Stac Patents"). The Netscape Communicator code does not perform compression. If you modify the Netscape source code to perform compression, please take notice of the Stac Patents.

D) Netscape Communications Corporation ("Netscape") does not guarantee that any source code or executable code available from the mozilla.org domain is Year 2000 compliant.

mozilla¥security¥nss¥pkg¥solaris¥common_files

The contents of this package are subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"); you may not use this package except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://www.mozilla.org/MPL/>

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is the Netscape security libraries.

The Initial Developer of the Original Code is Netscape Communications Corporation.
Portions created by Netscape are Copyright (C) 1994-2000 Netscape Communications
Corporation. All Rights Reserved.

Contributor(s):

Alternatively, the contents of this package may be used under the terms of the GNU General Public License Version 2 or later (the "GPL"), in which case the provisions of the GPL are applicable instead of those above. If you wish to allow use of your version of this package only under the terms of the GPL and not to allow others to use your version of this package under the MPL, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the GPL. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this package under either the MPL or the GPL.

xmlsec-gnutls

xmlsec-gnutls is an open source library that is used with the CA software. The xmlsec-gnutls library is not owned by CA, Inc. Use, copying, distribution and modification of the xmlsec-gnutls library is governed by the GNU Lesser General Public License v. 2.1. A copy of the LGPL license can be found in the http://opensrcd.ca.com/ips/2584_4/ directory from which the xmlsec-gnutls library is distributed. Additionally, a copy of the LGPL license can be found at <http://opensource.org/license/lgpl-license.php> or write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA. CA makes the source code for the xmlsec-gnutls library available at http://opensrcd.ca.com/ips/2584_4/. Use of the CA software is governed solely by the CA end user license agreement ('EULA'), not by the LGPL license. You cannot use, copy, modify or redistribute any CA code except as may be expressly set forth in the CA EULA. The xmlsec-gnutls library is provided '**AS IS**' WITHOUT WARRANTY OR CONDITION OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Further details of the disclaimer of warranty with respect to the xmlsec-gnutls library can be found in the LGPL license itself. To the full extent permitted under applicable law, CA disclaims all warranties and liability arising from or related to any use of the xmlsec-gnutls library.

OpenSSL 0.9.8.d and 0.9.8.h

This product includes software developed by the OpenSSL Project 0.9.8.d and 0.9.8.h for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>). This product also includes libraries from an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.

See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>). Terms and Conditions for the Use of xmlsec-openssl:

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2003 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

This product includes software written by Eric Young (eay@cryptosoft.com). Terms and Conditions for the Use of xmlsec-openssl:

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met: 1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution. 3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-). 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

OpenLDAP 2.4 and 2.3.20

This product includes software developed by The OpenLDAP Foundation. The software is distributed in accordance with the following license agreement.

The OpenLDAP Public License

Version 2.8, 17 August 2003

Redistribution and use of this software and associated documentation ("Software"), with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions in source form must retain copyright statements and notices,
2. Redistributions in binary form must reproduce applicable copyright statements and notices, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution, and
3. Redistributions must contain a verbatim copy of this document. The OpenLDAP Foundation may revise this license from time to time. Each revision is distinguished by a version number. You may use this Software under terms of this license revision or under the terms of any subsequent revision of the license.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENLDAP FOUNDATION AND ITS CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENLDAP FOUNDATION, ITS CONTRIBUTORS, OR THE AUTHOR(S) OR OWNER(S) OF THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The names of the authors and copyright holders must not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealing in this Software without specific, written prior permission. Title to copyright in this Software shall at all times remain with copyright holders.

OpenLDAP is a registered trademark of the OpenLDAP Foundation. Copyright 1999-2003 The OpenLDAP Foundation, Redwood City, California, USA. All Rights Reserved. Permission to copy and distribute verbatim copies of this document is granted.

PCRE 6.3

Portions of this product include software developed by Philip Hazel. The University of Cambridge Computing Service software is distributed in accordance with the following license agreement.

THE BASIC LIBRARY FUNCTIONS

Written by: Philip Hazel

Email local part: ph10

Email domain: cam.ac.uk

University of Cambridge Computing Service,
Cambridge, England.

Copyright (c) 1997-2008 University of Cambridge

All rights reserved.

THE C++ WRAPPER FUNCTIONS

Contributed by: Google Inc.

Copyright (c) 2007-2008, Google Inc.

All rights reserved.

THE "BSD" LICENCE

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice,

this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright

notice, this list of conditions and the following disclaimer in the

documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of the University of Cambridge nor the name of Google

Inc. nor the names of their contributors may be used to endorse or

promote products derived from this software without specific prior

written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

End

zlib 1.2.3

This product includes zlib developed by Jean-loup Gailly and Mark Adler.

ZThread 2.3.2

この製品の一部は、Eric Crahen によって開発されたソフトウェアが含まれています。
ZThread ソフトウェアは以下の使用許諾契約に従って配布されます。

Copyright (c) 2005, Eric Crahen

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.